

PO1

痛みの基礎研究、痛みの評価・診断1

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：福重 哲志（久留米大学病院 緩和ケアセンター）

- P01-1 **腫瘍増大にも関わらずベクティビックス投与後早期に痛みが軽減した多発転移を有する切除不能進行S状結腸がん患者の1症例** 186
 湯浅 周（名古屋記念病院 薬剤部、名古屋記念病院 緩和ケアチーム）
- P01-2 **大学病院入院中のがん患者の突出痛の頻度に関する予備調査** 186
 岸野 恵（神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 先端緩和学分野）
- P01-3 **肺癌部癌の疼痛コントロールにPICCが有効であった1例** 186
 足立 洋心（安来第一病院 緩和ケア科）
- P01-4 **疼痛アセスメントツール「タブレットPC版ペインメモリー」ソフト完成普及版の臨床試行** 186
 平澤 宏卓（公立学校共済組合 東海中央病院）
- P01-5 **骨転移による関連痛が疑われた一例** 187
 秋山 康介（昭和大学藤が丘病院小児科、昭和大学藤が丘病院緩和ケアチーム）
- P01-6 **がん患者に発症した脊椎変性疾患による痛みのアセスメントとマネジメント** 187
 伊藤 磨矢（弘前大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケア診療室）
- P01-7 **稀な眼窩転移が苦痛の原因であると同定された終末期がん患者の3症例** 187
 小島 美保（小牧市民病院 緩和ケア科）
- P01-8 **癌終末期の神経障害性疼痛に対してカルバマゼピンの少量投与が有効であった2症例の検討** 187
 菊岡 修一（昭和大学 横浜市北部病院 緩和医療科）

PO2

痛みの評価・診断2

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：北條 美能留（長崎大学病院 緩和ケアセンター）

- P02-1 **症状評価ツールの院内統一化（第一報）** 188
 砂田 祥司（国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター 緩和ケアチーム、国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター 緩和ケア科）
- P02-2 **当院における痛みの評価シートの運用報告 第一報** 188
 梶原 真由美（公立八女総合病院 緩和ケアチーム）
- P02-3 **神経軸索損傷バイオマーカー pNF-Hは化学療法誘発性ニューロパシーの客観的指標にはならない** 188
 住谷 昌彦（東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部）
- P02-4 **重粒子線治療に伴う有害事象としての慢性疼痛の実態** 188
 林 奈輔子（大阪大学医学部附属病院 麻酔科、大阪大学医学部附属病院 緩和ケアチーム）
- P02-5 **NRS導入と同時に取り入れた評価表の活用の実際** 189
 西山 ルリ子（社会医療法人 同心会 古賀総合病院）
- P02-6 **当院で実施した「苦痛のスクリーニング」第一報：パイロット運用の結果について** 189
 矢田 和美（地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立安佐市民病院 緩和ケアチーム）
- P02-7 **急性期医療病院においてスクリーニングシートの導入を経験してみても～導入期581件の運用についての省察～** 189
 芝 祐信（東京都立多摩総合医療センター 緩和ケアチーム）

 マークは優秀演題です。

- P02-8 苦痛は、身体的QOLにどのような影響を与えているのか。
 IDAS臨床データの回帰分析と時系列分析の試み 189
 宮森 正 (川崎市立井田病院・かわさき総合ケアセンター)

P03

オピオイド1

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：龍 恵美 (長崎大学病院 薬剤部)

- P03-1 塩酸モルヒネ徐放製剤からタベンタドールへの
 オピオイドスイッチングにより嘔気・嘔吐が改善した一症例 190
 赤川 舞子 (北見赤十字病院 看護部)
- P03-2 当院でのタベンタドールの使用経験 190
 藤範 梨絵 (天和会 松田病院 看護部)
- P03-3 モルヒネによる痛覚過敏と考えられた肺がんの一例 190
 飯田 邦夫 (協立総合病院 緩和ケア診療部)
- P03-4 タベンタドール使用経験にもとづく適応の検討 190
 福永 智栄 (姫路赤十字病院)
- P03-5 メサドン投与中に発作性心房細動を発症した場合の対応について 191
 松田 良信 (宝塚市立病院 緩和ケア内科)
- P03-6 難治性がん疼痛に対し、大量のメサドンと再放射線治療が効果的であった1症例 191
 吉武 淳 (熊本大学大学院 生命科学研究所 麻酔科学分野)
- P03-7 塩酸ケタミンを使用し自壊創処置の疼痛コントロールができた事例 191
 桑原 ひろみ (市立ひらかた病院)
- P03-8 シズプラチンによる末梢神経障害性疼痛に対する17年間の
 MSコンチン™服用後に離脱を試みた精巣腫瘍既往患者の一例 191
 佐藤 薫 (福島県立医科大学麻酔科学講座)
- P03-9 乳房切除後疼痛症候群の加療に、トラマドールよりタベンタドールへの
 オピオイドスイッチングが有効であった1例 192
 田澤 利治 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科)
- P03-10 持続硬膜外ブロックを併用してメサドン塩酸塩への切り替えを行った二症例 192
 仙田 正博 (姫路赤十字病院 麻酔科)

P04

オピオイド2

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：富安 志郎 (光仁会西田病院 麻酔科)

- P04-1 オピオイドの身体依存と、減量による退薬症状のマネジメントに難渋した胃癌の一例 192
 清水 啓二 (淀川キリスト教病院 緩和ケアチーム)
- P04-2 外来オピオイド使用患者の適正調査～乱用・依存の予防と治療～ 192
 清水 啓二 (淀川キリスト教病院 緩和ケアチーム)
- P04-3 口腔乾燥の強い患者への対応～舌下錠溶解に時間を要した事例を通して～ 193
 有田 まゆか (広島医療生活協同組合 広島共立病院)
- P04-4 短期間でフェンタニルクエン酸塩舌下錠を中止した症例の検討 193
 西村 絵実 (済生会 川内病院 緩和ケアチーム)
- P04-5 オピオイドの副作用がタベンタドールへの変更で軽減された3症例 193
 並木 瑠理江 (東京歯科大学 市川総合病院 緩和ケアチーム)

P04-6	コントロール不良の疼痛に対しオキシコドン注射剤を使用し、 効果的な鎮痛が得られた一事例	193
	岡本 亜紀 (奈良県立五條病院 緩和ケアチーム)	
P04-7	高用量オキシコンチン使用中の外来通院患者にイーフェンバッカル錠を使用した1症例	194
	関根 貴之 (埼玉県済生会川口総合病院 薬剤部、同 緩和ケアチーム)	
P04-8	当院におけるアブストラル導入例の検討	194
	仲森 由香 (地域医療機能推進機構 大阪病院)	
P04-9	オキシコドン徐放錠開始量でせん妄となったが、タベンタドール徐放錠ではせん妄とならず、 良好な鎮痛が得られた高齢・高度進行尿路上皮がんの一例	194
	板倉 崇泰 (兵庫県立柏原病院 内科、兵庫県立柏原病院 緩和ケア病棟、 兵庫県立柏原病院 緩和ケアチーム)	
P04-10	当院におけるタベンタドールの使用経験	194
	小尾 芳郎 (横浜市立みなと赤十字病院)	
P04-11	メサドンが内服できなくなってモルヒネにオピオイドスイッチングを図った1例	195
	小尾 芳郎 (横浜市立みなと赤十字病院)	

**P05
オピオイド3**

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：白澤 円 (災害医療センター)

P05-1	メサドンからタベンタドールへのオピオイドスイッチ： メサドンにてQT延長を来した症例を通しての考察	195
	山口 重樹 (獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座)	
P05-2	本邦における突出痛に対するレスキュー薬の選択傾向についてのアンケート調査	195
	山口 重樹 (獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座)	
P05-3	タベンタ [®] 錠 (タベンタドール塩酸塩) を使用した5例	195
	高橋 有我 (独立行政法人国立病院機構 西群馬病院 緩和ケア科)	
P05-4	アブストラル [®] 舌下錠の使用で呼吸困難感が改善した1症例	196
	山口 俊弘 (医療法人 誠心会 井上病院)	
P05-5	メサドンの導入から中止までを経験した1症例	196
	姜 元美 (医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院 薬剤科)	
P05-6	仙骨転移に伴う体動時痛、歩行困難に対しメサドンが有効であったが、 転院調整の際の対応に苦慮した症例	196
	棚橋 順治 (名古屋第二赤十字病院 麻酔・集中治療部、 名古屋第二赤十字病院 緩和ケアチーム)	
P05-7	メサドン内服中の予測可能な突出痛にフェンタニル速放性剤を用いてQOLが向上した一例 ～日本語が話せない前立腺がん、骨転移患者の疼痛コントロール～	196
	永田 しのぶ (宝塚市立病院 緩和ケア病棟)	
P05-8	新規採用薬を患者に安全に提供するための試み 「フェンタニル口腔粘膜吸収剤の効果的で安全な使用の検討」	197
	真上 美千子 (公益社団法人 鹿児島共済会 南風病院)	
P05-9	難治性のがん疼痛に対するメサドン塩酸塩の有効性の検討	197
	小原 弘之 (県立広島病院 緩和ケアチーム、県立広島病院 緩和ケア科)	
P05-10	オキシコドンに起因する陰性ミオクローヌス	197
	関根 義人 (岩手県立中部病院 緩和医療科)	

**P06
オピオイド4**

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：原田 紳介（横浜市立大学附属病院 麻酔科）

- P06-1 **SNRIの中止によりメサドンを継続できた骨盤内原発不明癌の一例** 197
浅野 寿利（静岡済生会総合病院 緩和医療科）
- P06-2 **混合性疼痛を有する骨転移痛に対するタベンタドールの使用経験と有効性について** 198
山崎 圭一（ベルランド総合病院 緩和ケア科、ベルランド総合病院 乳腺センター）
- P06-3 **オピオイドの大量減量に成功した身体表現性障害の一症例** 198
尹 美帆（地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター 薬剤科）
- P06-4 **消化管通過障害の悪化を回避するためフェンタニル貼付剤にタベンタドールを追加して痛みのコントロールを行った2症例** 198
仁熊 敬枝（香川県立中央病院）
- P06-5 **当院におけるフェンタニルバツカル錠の使用状況と課題** 198
村上 通康（松山赤十字病院 薬剤部 緩和ケアチーム）
- P06-6 **難治性がん疼痛を抱える患者への安全かつ効果的なメサドンの導入—統一した看護実践による薬剤移行—** 199
今坂 久美子（兵庫県立がんセンター）
- P06-7 **フェンタニルバツカル錠の適正使用に向けた取り組み** 199
辻 直子（独立行政法人労働者健康福祉機構 和歌山労災病院 薬剤部、独立行政法人労働者健康福祉機構 和歌山労災病院 緩和ケアチーム）
- P06-8 **フェンタニル舌下錠のプロトコル作成と使用患者の評価** 199
小野田 千晴（焼津市立総合病院 薬剤科、焼津市立総合病院 緩和ケアチーム）
- P06-9 **日本ではがん患者にたいするオピオイド投与量が不十分か？** 199
照井 健（東札幌病院 内科）
- P06-10 **フェンタニル口腔粘膜吸収剤の使用実態調査** 200
原 伸輔（大阪大学 医学部附属病院 薬剤部、大阪大学 医学部附属病院 緩和ケアチーム）

**P07
オピオイド5**

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：増澤 宗洋（関西医科大学附属滝井病院 ベイクリニック・緩和医療科）

- P07-1 **当院におけるフェンタニル即効性製剤の検討** 200
白木 照夫（国立病院機構岩国医療センター緩和ケア）
- P07-2 **当院におけるアプストラル[®]を使用した症例の用量設定の傾向** 200
高野 陽平（砂川市立病院 緩和ケアチーム、砂川市立病院 薬剤部）
- P07-3 **当院におけるフェンタニルバツカル錠の使用経験** 200
堀江 達夫（大田市立病院 薬剤科）
- P07-4 **2014年1年間の当院での癌性疼痛に対するトラマドール処方患者の検討** 201
岩木 俊男（天和会 松田病院 麻酔科）
- P07-5 **当院におけるメサドン処方例（18例）の検討** 201
棚田 大輔（兵庫医科大学 麻酔科学疼痛制御科学講座、兵庫医科大学病院 緩和ケアチーム）
- P07-6 **当院におけるタベンタドールの使用経験** 201
風間 俊文（群馬県立がんセンター 緩和ケア科）

P07-7	当院におけるフェンタニル速放製剤の処方実態調査 201 船越 康太 (社会医療法人 製鉄記念八幡病院 薬剤部)
P07-8	当科におけるがん疼痛に対するタベンタドールの使用経験 202 佐藤 哲観 (弘前大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケア診療室、 弘前大学医学部附属病院 腫瘍センター 緩和ケア診療室)
P07-9	レスキュードーズ患者自己管理 第2報～院内への普及を目指して～ 202 小野 裕子 (市立函館病院)
P07-10	患者視点に立った経口レスキュー麻薬自己管理の導入 202 内山 恵 (上越地域医療センター病院 看護部)

**P08
オピオイド6**

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：鄭 陽 (がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科)

P08-1	がん悪液質はフェンタニルパッチによる疼痛コントロールを悪化させる 202  高橋 宏彰 (岩手医科大学附属病院 薬剤部)
P08-2	当院でのタベンタドール塩酸塩投与症例に関する調査 203 田中 裕子 (新潟市民病院薬剤部、新潟市民病院緩和ケアチーム)
P08-3	新規徐放性オピオイド：タベンタドールの使用状況と今後の課題 203 渡辺 昭彦 (札幌医科大学附属病院 緩和ケア管理室、札幌医科大学 医学部 麻酔科学講座)
P08-4	医療用麻薬使用状況から見てくる大学病院でのがん疼痛薬物治療の現状と課題 203 岩重 淳司 (産業医科大学病院 緩和ケアセンター)
P08-5	緩和ケアチームが介入した大量オピオイド投与患者の検討 203 長佐古 良英 (東京臨海病院 緩和ケアチーム)
P08-6	経皮型フェンタニル貼付剤剥離直後からのオキシコドン注開始に関する検討 204 戎井 豊 (長岡西病院 緩和ケア科(ビハーラ))
P08-7	終末期におけるフェンタニル経粘膜吸収製剤を継続使用するための工夫 204 和泉 早智子 (医療法人 東札幌病院 薬剤課)
P08-8	トラマドールと強オピオイドの併用に関する調査 204 加藤 晋一郎 (あそかビハーラ病院 薬剤部)
P08-9	当院におけるフェンタニル速放性製剤の使用状況と適正使用のための取り組み 204 梶浦 新也 (富山大学 大学院 医学薬学研究部 臨床腫瘍学講座、 富山大学 附属病院 緩和ケアチーム)

**P09
オピオイド7**

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：余宮 きのみ (埼玉県立がんセンター 緩和ケア科)

P09-1	福岡大学筑紫病院におけるフェンタニル速放性製剤の有効性および安全性調査 205 川田 哲史 (福岡大学 筑紫病院 緩和ケアチーム、福岡大学 筑紫病院 薬剤部)
P09-2	フェンタニルパッチの舌下投与と腸閉塞や頭頸部がんなどの内服困難症例に対する使用経験 205 小杉 寿文 (佐賀県医療センター好生館 緩和ケア科)
P09-3	当院におけるフェンタニル口腔粘膜剤の使用状況 205 大木 桜子 (独立行政法人 国立国際医療研究センター病院 薬剤部)

P09-4	疼痛治療に対する当院でのトラマドール塩酸塩使用状況についての考察 205 永縄 由美子 (市立室蘭総合病院 緩和ケアチーム)
P09-5	伊那中央病院におけるフェンタニル舌下錠の使用状況 206 伊藤 賢治 (伊那中央病院 薬剤科)
P09-6	ROOとSAOの併用に関する安全性の検討 206 倉橋 基尚 (関西電力病院 薬剤部)
P09-7	緩和ケアチームにおける新規オピオイド製剤タペンタドールの有効性の検討 206 八谷 由貴 (佐賀県医療センター好生館 薬剤部)
P09-8	当院におけるフェンタニル口腔粘膜吸収剤の使用状況 206 石山 明人 (佐世保市立総合病院 薬剤部)
P09-9	医療用麻薬消費量の地域差に影響を及ぼす因子の検討 207 関山 裕詩 (帝京大学医学部麻酔科学講座)

PO10

オピオイド以外の薬物療法

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：池垣 淳一 (兵庫県立がんセンター 地域医療連携部兼緩和ケアセンター、緩和ケア内科・麻酔科)

P010-1	神経障害性疼痛管理に影響する要因の分析 207  田原 一樹 (奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター)
P010-2	神経障害性疼痛に対するリドカイン静注の治療効果に関する検討 207 國末 充央 (公益財団法人 大原記念 倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 緩和ケア科)
P010-3	小児単一施設におけるアセトアミノフェン静注薬の使用状況と安全性についての検討 207 齋藤 恭子 (埼玉県立小児医療センター 緩和ケアチーム)
P010-4	当院におけるアセトアミノフェン静注液の処方実態調査 208 高浪 英樹 (製鉄記念八幡病院 緩和ケア)
P010-5	鎮痛補助薬の併用によりオピオイドを大幅に減量することができた癌患者の一例 208 中村 契 (国保中央病院 緩和ケア科)
P010-6	癌性疼痛に対してケタラルールが有効であった2例 208 金子 高明 (松戸市立病院 緩和ケア科、外科、緩和ケアチーム)
P010-7	同種骨髄移植の粘膜障害に移植前からのプレガバリン併用が有効と思われた3症例 208 水口 亜紀 (札幌医科大学 医学部 麻酔科学講座)
P010-8	オピオイド抵抗性疼痛においてフルピプロフェンアキセル大量投与が有効であった腎盂がん大動脈周囲リンパ節転移の1例 209 遠藤 正人 (埼玉県厚生連 熊谷総合病院 緩和ケアチーム)
P010-9	塩化ストロンチウムによって在宅生活が可能となった乳癌骨転移の1例 209 山口 由美 (鳥取赤十字病院 外科)
P010-10	メサドンで効果不十分な難治性神経障害性疼痛に対し、モルヒネとケタミンの持続皮下注射が奏功した一例 209 青木 佐知子 (淀川キリスト教病院 ホスピス・こどもホスピス病院)
P010-11	右耳下腺癌患者の中樞神経浸潤に伴う神経障害性疼痛に少量ケタミン持続皮下投与が有効であった一例 209 濱田 なみ子 (川崎市立井田病院 緩和ケア内科)

PO11

ペインクリニック・神経ブロック

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：櫻井 宏樹（がん研有明病院 がん疼痛治療科）

- PO11-1 肺癌腕神経叢浸潤性の痛みに対する脊髄刺激療法 210
松下 至誠（貝塚病院 麻酔科）
- PO11-2 放射線性神経炎による神経障害性疼痛4例の治療経験 210
穂積 淳（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部）
- PO11-3 周期的に訴える激痛に対しても膜下鎮痛を施行した1例 210
小山 佐知子（公益財団法人日本生命済生会付属日生病院 看護部、
公益財団法人日本生命済生会付属日生病院 緩和ケアチーム）
- PO11-4 持続くも膜下ブロックとiv PCAの組み合わせにより、在宅移行が可能となった肺癌の1例 210
小野 純一郎（KKR高松病院 麻酔科）
- PO11-5 当院における内臓神経ブロックの現状と課題 211
澤田 憲朗（公立陶生病院 緩和ケア内科）
- PO11-6 大量フェンタニル静注による用量調節で、リニアック照射が可能となった一症例 211
大木 浩（鹿児島県立大島病院 麻酔科）
- PO11-7 骨転移による痛みに対して局所麻酔薬を用いた神経根ブロックが著効した2症例 211
石川 慎一（姫路赤十字病院 麻酔科）
- PO11-8 当院におけるがん疼痛患者に対する脊髄くも膜下鎮痛法の検討 211
椎原 啓輔（大分大学 医学部 麻酔科学講座、大分大学 医学部 附属病院 緩和ケア支援チーム）
- PO11-9 悪性腸腰筋症候群による腰下肢痛のコントロールに難渋した症例
一最適な鎮痛法についての検討一 212
上野 博司（京都府立医科大学疼痛緩和医療学講座）
- PO11-10 がん性痛に対する内臓神経ブロックの適応と施行時期およびその有用性と安全性、
副作用に関する検討 212
波多野 貴彦（京都府立医科大学附属病院 疼痛・緩和医療学講座）
- PO11-11 膵臓がん患者の上腹部痛に対する腹腔神経叢ブロックの効果と限界 212
坂本 明之（信州大学 医学部 包括的がん治療学教室、信州大学 医学部 麻酔蘇生学教室）

PO12

非薬物療法(患者教育など)、トータルペイン、その他の痛みに関するもの1

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：松岡 弘道（近畿大学医学部 内科学心療内科部門/近畿大学医学部附属病院 がんセンター緩和ケア室）

- PO12-1 体位変換や枕の位置の工夫で頭痛が軽減した2症例 212
大西 佳子（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学講座、
京都府立医科大学附属病院 疼痛緩和医療部）
- PO12-2 疼痛緩和のために個別性のあるポジショニング実践
～ポジショニングに難渋した1事例を通して～ 213
佐藤 玲奈（総合病院 岡山協立病院 緩和ケア科）
- PO12-3 Hirshsprung病類縁疾患で脳死小腸移植術後の慢性腹痛患者2例の疼痛管理 213
田島 つかさ（塩竈市立病院 緩和医療内科）
- PO12-4 危機的状態に陥った中途失明を伴う頭頸部横紋筋肉腫を罹患した青年患者への関わり 213
石田 京子（名古屋市立大学病院 看護部）
- PO12-5 オピオイド量を最小限とするために～多角的アプローチが奏効した症例 213
前田 薫（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 緩和医療学）

PO12-6	右肩痛を初発とした転移性肝腫瘍破裂の一例	214
	佐藤 浩二 (前橋赤十字病院 かんわ支援チーム)	
PO12-7	放射線照射時の体位により誘発される激痛に対して、 緩和ケア医が付き添いでオピオイドを調節し治療継続できた頸部食道癌術後再発の一例	214
	坂 祥平 (北里大学病院 総合診療部)	
PO12-8	悪性腸腰筋症候群を呈し疼痛コントロールに難渋した原発不明癌の一例	214
	青野 奈々 (独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター がんサポートチーム)	
PO12-9	症状コントロールだけでなく薬剤の投与経路にも苦慮した広範囲皮膚潤滑癌の1例	214
	前里 喜一 (松籟会 河畔病院 緩和ケア内科)	

PO13

その他の痛みに関するもの2

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：大中 俊宏 (諏訪中央病院 精神腫瘍科)

PO13-1	抗精神病薬の追加にて疼痛コントロールが改善した症例の検討	215
	高橋 尚子 (日本赤十字社医療センター 緩和ケア科)	
PO13-2	胸椎転移による疼痛がデノスマブ投与に相関して増悪を繰り返した肺小細胞がんの1例	215
	大澤 岳史 (帝京大学 医学部 緩和医療学講座)	
PO13-3	薬物療法に緩和的放射線照射または化学療法を併用することで 良好な疼痛緩和が得られた悪性腸腰筋症候群の2症例	215
	春日 真由美 (独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院)	
PO13-4	JR東京総合病院におけるがん疼痛に対する鎮痛剤の使用傾向	215
	春日 高穂 (JR東京総合病院)	
PO13-5	終末期の疼痛管理における電動式PCAポンプ運用上の看護師教育の課題	216
	畑 千秋 (公立大学法人 横浜市立大学附属病院 緩和ケアチーム)	
PO13-6	がん終末期の筋筋膜性疼痛に関する検討	216
	川畑 恵 (勤医協中央病院 緩和ケア科)	
PO13-7	「早期に疼痛コントロールを図るための取組みの評価と課題」 ～レスキュー使用時の記録方法を変更して～	216
	飯島 麻希 (聖マリアンナ医科大学病院 看護部)	
PO13-8	がん患者に対するレスキュー使用時の看護師の臨床判断	216
	青山 真由美 (杏林大学 医学部 付属病院)	
PO13-9	認知症患者における癌性疼痛の表現の実態調査	217
	上野 ますみ (宗教法人 聖フランシスコ病院会 聖フランシスコ病院)	

PO14

抑うつ・不安、せん妄・不眠1

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：松島 英介 (東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野)

PO14-1	緩和治療における心理検査施行の検討：第二報	217
	増田 亨 (桑名西医療センター 緩和ケアチーム)	
PO14-2	オピオイドの過量投与の原因となった双極性障害(躁うつ病)の症例	217
	森田 幸代 (滋賀医科大学腫瘍センター、市立長浜病院)	
PO14-3	進行肺がん患者およびその家族に対する肺がん診断時のQOL・精神状態に関する アンケート調査	217
	佐藤 崇 (慶應義塾大学 医学部 呼吸器内科、佐野厚生総合病院 内科)	

PO14-4	「イライラ」という言葉でしか表出できなかった患者への対応 …… 218 三浦 純子（市立伊丹病院 看護部、市立伊丹病院 緩和ケアチーム）
PO14-5	急性期病棟でのがん終末期患者のせん妄に対する対応の困難性について …… 218 塩原 正之（千葉市立海浜病院 緩和ケアサポートチーム）
PO14-6	がん治療中に問題行動が頻発し家族関係が破綻したうえ 治療継続も困難となった症例の検討 …… 218 松本 晴美（パナソニック健康保険組合 松下記念病院）
PO14-7	否認と低活動性せん妄との鑑別が困難であった1例 …… 218 糸賀 知子（越谷市立病院）
PO14-8	低活動型せん妄と考えられた患者への援助 …… 219 的井 徳子（パナソニック健康保険組合 松下記念病院）
PO14-9	せん妄に関わる当院緩和ケアチームの活動報告 …… 219 勝田 友絵（公立昭和病院 緩和ケアチーム）
PO14-10	緩和ケアチーム介入患者におけるせん妄発症例の検討 …… 219 天野 光（宮城県立がんセンター 緩和ケアチーム）
PO14-11	カルテ調査からみたがん患者のせん妄へのハロペリドール非経口投与の効果について …… 219 森田 幸代（滋賀医科大学腫瘍センター、滋賀医科大学精神医学講座）

PO15

せん妄・不眠②

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：村上 忠（医療法人赤城会 三枚橋病院/群馬県立がんセンター）

PO15-1	多職種によるせん妄対応プログラムの開発 …… 220  小川 朝生（国立がん研究センター東病院 臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野）
PO15-2	呼吸器外科・消化器外科の手術予定患者を対象とした 看護師による認知機能評価に関する後方視的観察研究 …… 220 井上 真一郎（岡山大学病院 精神科神経科）
PO15-3	抗精神病薬・ベンゾジアゼピン（BZ）系薬剤を最小限に抑えたせん妄対策の策定： 一般科医師・研修医による初期対応のツール化を目指して …… 220 山川 宣（国立病院機構 神戸医療センター 緩和ケア室）
PO15-4	当院緩和ケア科におけるせん妄出現状況と薬剤使用状況について …… 220 鈴木 晶子（独立行政法人 国立病院機構函館病院 緩和ケア科）
PO15-5	緩和領域におけるquetiapine投与量を決定する因子に関する検討 …… 221 佐伯 吉規（がん研究会有明病院 緩和治療科）
PO15-6	難治性せん妄に対するクロルプロマジン持続皮下注射の  有効性と安全性についての前後比較研究 …… 221 木内 大佑（筑波メディカルセンター病院 緩和医療科）
PO15-7	院内製剤クエチアピン坐剤の臨床経験と有効性の検討 …… 221 名倉 美樹（札幌南青洲病院 緩和ケア）
PO15-8	がん終末期せん妄に関連したインシデント分析から見えた対応方法 ～看護師の立場から～ …… 221 高橋 千春（上尾中央医科グループ 社団協友会 八潮中央総合病院）
PO15-9	プレギャバリンのせん妄発現に及ぼす影響の検討 …… 222 田邊 豊（順天堂大学 医学部附属 練馬病院 緩和ケア室）

P015-10	各種オピオイド注射薬開始時のせん妄発現率に関する比較検討	222
	田中 怜 (静岡県立静岡がんセンター 薬剤部)	
P015-11	低活動型せん妄がん患者のsLORETAによる定量脳波解析	222
	北浦 祐一 (関西医科大学附属滝井病院 精神神経科、 関西医科大学附属滝井病院 緩和ケアチーム、 関西医科大学附属滝井病院 救急救命センター)	

P016

精神・心理的ケア

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：吉内 一浩 (東京大学医学部附属病院 心療内科)

P016-1	がん患者におけるソリューションフォーカスト・ブリーフセラピー ～死後の語り アフターザ・ミラクルへの着目～	222
	永石 尋幹 (公益社団法人 出水部医師会広域医療センター 心理サポート室)	
P016-2	がん告知を受けた患者の心の反応とメンタルケア	223
	人見 由希子 (石川県立中央病院 看護部)	
P016-3	苦痛緩和が困難な状況における看護師の<様子をみる>という言葉から学んだ一症例	223
	伊藤 麻子 (名古屋大学 医学部附属病院 緩和ケアチーム)	
P016-4	病室で自殺を企図した末期がん患者に対するアプローチの課題	223
	保科 未来 (札幌徳洲会病院 看護部)	
P016-5	有床精神科をもつ山形県地域がん診療連携拠点病院で精神科病棟に入院した がん患者への支援と課題	223
	遠藤 俊子 (公立置賜総合病院 看護部、公立置賜総合病院緩和ケアチーム)	
P016-6	岩手医科大学緩和ケアチームにおける精神科の活動報告	224
	佐藤 瑠美子 (岩手医科大学 神経精神科学講座、岩手医科大学附属病院 緩和ケアチーム)	
P016-7	当院における緩和ケア～心理検査を用いた末期癌患者の状態把握～	224
	安井 祐司 (医療法社団ほがらか会 室井整形外科 心療内科)	
P016-8	外来化学療法室で「生活のしやすさに関する質問票」を導入して見えてきたもの	224
	松田 志保美 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院 外来化学療法室)	
P016-9	ブリーフセラピーを援用した緩和ケアカンファレンス —外部コメントターの介入効果についての検討—	224
	三谷 聖也 (愛知教育大学)	
P016-10	術後臓器がん患者の人生観—PILテストを通して—	225
	佐伯 千尋 (金沢大学附属病院)	
P016-11	精神科リエゾン医療と緩和医療チームでのがん治療への影響の比較	225
	富岡 大 (昭和大学 医学部 精神医学講座、昭和大学 横浜市北部病院 メンタルケアセンター、 昭和大学 横浜市北部病院 緩和医療チーム)	

P017

スピリチュアルケア・宗教的ケア

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：家田 秀明 (名古屋掖済会病院 緩和医療科)

P017-1	医師に対するスピリチュアルケア研修の評価：前後比較試験	225
	的場 康徳 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 腫瘍学講座)	

PO17-2	緩和ケア病棟の看護師が終末期がん患者にスピリチュアルケアを実践する上で抱える困難への対処	225
	小薄 美保 (独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター)	
PO17-3	終末期がん患者のスピリチュアルペイン ～ホスピスにおけるスピリチュアルペインの察知の現状～	226
	山極 哲也 (日本パテテスト病院 ホスピス)	
PO17-4	圏域単位で行うスピリチュアルケアスキルアップのための看護教育プログラムの検討	226
	伊藤 礼子 (伊那中央病院)	
PO17-5	外来化学療法室におけるスピリチュアルケアの意義の検討	226
	炭谷 真由美 (医療法人真生会 真生会富山病院)	
PO17-6	進行乳癌患者が死を前にみせた意識の拡張 ～ M.Newmanの「健康の理論」による検討～	226
	井寺 奈美 (がん・感染症センター都立駒込病院 乳腺外科)	
PO17-7	最後の希望を叶え、旅立つ為に～母の看取りを振り返って～	227
	市川 佳代 (千葉徳洲会病院 緩和ケア病棟)	

PO18	6月19日(金)17:30-18:30
家族のケア・子どものケア I	ポスター会場

座長：菅原 よしえ (宮城大学 看護学部)

PO18-1	家族に対する予期悲嘆のケア	227
	内藤 道代 (内藤耳鼻咽喉科クリニック)	
PO18-2	「この子が家族を引き寄せた」と語る、娘を看取る母親のもつ家族像	227
	宮内 真奈美 (医療法人社団 大浦会 メディカルケアセンターファイン 緩和ケア病棟)	
PO18-3	家族の力を引き出す家族看護～非癌患者の老々介護の看取りを通して～	227
	中村 浩美 (スタイル訪問看護ステーション)	
PO18-4	AYA世代大腸がん患者の危機状態に陥った家族に対する支援の検討	228
	小野 聡子 (札幌医科大学附属病院 医事相談センター がん看護相談)	
PO18-5	自閉症児とその家族に対するbreavement careの1例	228
	金井 理恵 (島根大学 医学部 小児科、島根大学医学部附属病院 緩和ケアチーム)	
PO18-6	治療を拒否し受けた代替療法中に多発転移を来した乳がん患者とその家族への支援 －親ががんであることを子どもに伝えることができた事例－	228
	杉本 啓子 (飯田市立病院 看護部)	
PO18-7	18トリソミー患児への地域在宅緩和ケアにおける薬剤師のレスパイト的関わり	228
	須崎 宏子 (ハートフルケア ミヤケ薬局)	
PO18-8	母親役割をサポートし子どもへのグリーフケアにつながった事例 ～統合失調症を持つ乳がん末期患者への関わりを通して～	229
	八木 律子 (県立安芸津病院)	
PO18-9	終末期リンパ浮腫患者へキューブ型スポンジを使用したケア介入により 家族の悲嘆ケアにもつながった1事例	229
	外川 仁美 (市立旭川病院 緩和ケアチーム)	
PO18-10	終末期にあるがん患者の家族の意思決定に影響した要因について	229
	木幡 沙知 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院)	
PO18-11	多職種による家族支援が子どものケアに繋がった一症例	229
	林 恵子 (がん・感染症センター 都立駒込病院)	

PO19

家族のケア・子どものケア2

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：松岡 真里（高知大学 教育研究部医療学系看護学部 臨床看護学講座 小児看護学）

- PO19-1 総合的家族アセスメントを介して在宅生活が可能となった社会的苦痛に苦慮した一例 …… 230
濱田 なみ子（川崎市立井田病院 緩和ケア内科）
- PO19-2 伝言ではなく、患者本人の言葉が家族の生きる支えとなった事例 …… 230
森谷 記代子（医療法人社団若林会 湘南中央病院 在宅診療部）
- PO19-3 がんの親をもつ子供の支援方法について …… 230
小高 ふみ（(公財)東京都保健医療公社豊島病院 緩和ケア内科）
- PO19-4 夫とのコミュニケーションに難渋しつつも、親子の離別にに向けた支援をし得た1例 …… 230
井原 世尊（東京都立多摩総合医療センター 緩和ケアチーム）
- PO19-5 療養・看取りの場所をめぐる家族間の意見相違の対応 …… 231
大久保 玲子（製鉄記念八幡病院 緩和ケア病棟）
- PO19-6 終末期にある子どもと家族の想いを支えるチーム医療 …… 231
大鷲 しのぶ（沖縄県立 南部医療センター・こども医療センター 4階小児病棟 看護師）
- PO19-7 患者と共存にある家族に対する予期悲嘆への関わり …… 231
茨木 遼子（石川県済生会金沢病院）
- PO19-8 治療を受けるがん患者とその子どもを支援する院内多職種チーム（SKiP）の活動報告 …… 231
仙波 美幸（慶應義塾大学看護医療学部）
- PO19-9 がんの親をもつ子どものサポート“ことりカフェ”の実践報告 …… 232
蛭田 悠子（北海道大学病院 腫瘍センター 子ども療養支援士）
- PO19-10 小児科家族支援チームの活動の実際と課題：
子どもを抱えて闘病する成人がん患者・家族への支援 …… 232
野口 啓子（静岡県立静岡がんセンター 小児科）
- PO19-11 緩和ケアチームでの介入患者の中で、子供のサポートまで行えた症例の検討 …… 232
高橋 尚子（日本赤十字社医療センター 緩和ケア科）

PO20

家族のケア・子どものケア3

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：石黒 千映子（日本赤十字豊田看護大学）

- PO20-1 看取りパンフレットの家族の活用 …… 232
川淵 朱美（井原市立井原市民病院）
- PO20-2 在宅療養におけるがん終末期患者の介護のつらさとその死後に与える影響 …… 233
畑 ゆかり（訪問看護ステーションすまゑと北支所）
- PO20-3 看護師ががん患者の子どもに行う支援に関する研究 …… 233
石下 綾乃（群馬大学 医学部 保健学科）
- PO20-4 がんの親をもつ子どもへの支援に関する現状調査～看護師へのアンケート調査から～ …… 233
松尾 久美（長崎大学病院 緩和ケアチーム）
- PO20-5 緩和ケア病棟看護師が行う看取りの時期を迎えた家族へのケア …… 233
成毛 育恵（聖隷佐倉市民病院 看護部）
- PO20-6 家族の抱えるつらさと医療体制の現状をみつめる
～家族が求める緩和医療をめざして～ …… 234
古川 いづみ（社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院 緩和ケアチーム）

P020-7	緩和ケア病棟入院患者の子供支援に対する看護師の認識	234
	平木 葉子 (市立砺波総合病院)	
P020-8	家族形成期の成人がん患者・家族が抱える困難およびサポートニーズ	234
	津村 明美 (静岡県立静岡がんセンター 看護部)	
P020-9	遺族への手紙の返信から抽出された病棟看護師が行う家族ケアのあり方	234
	神村 早紀 (前橋赤十字病院 9号病棟、かんわ支援チーム)	
P020-10	がん診療拠点病院未整備の二次医療圏内に住むがん患者家族の医療に対するニーズ	235
	川村 三希子 (札幌市立大学 看護学部)	

P021
遺族のケア1

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：坂口 幸弘 (関西学院大学 人間福祉学部)

P021-1	お悔やみ訪問から我々が学ぶこと	235
	野本 文子 (医療法人社団友輝会 ひのわクリニック鶴見)	
P021-2	夫と死別後悲嘆が遷延し適応障害を発症した妻への関わり	235
	藤本 順子 (公立大学法人福島県立医科大学附属病院 看護部 緩和ケアチーム)	
P021-3	がん緩和ケアを実践する有床診療所(有床診)におけるグリーフケアの取り組み	235
	坂田 和美 (医療法人ならの杜たんぼほクリニック)	
P021-4	緩和ケア病棟におけるつなぎ手の会(家族会)の活動報告と今後の展望	236
	荒島 美津江 (医療法人 清和会 長田病院)	
P021-5	遺族会への取り組み～緩和ケア病棟開設からの取り組み内容の報告～	236
	上野 史織 (がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科)	
P021-6	ビハラー病棟における遺族会～初盆法要を通じたグリーフケアの意義～	236
	花岡 尚樹 (あそかビハラー病院)	
P021-7	緩和ケア病棟における遺族会の在り方と今後の課題	236
	西村 史子 (医療法人 徳洲会 和泉市立病院)	
P021-8	エンゼルケアへの家族参加を促すための看護師の関わり方の現状調査	237
	春木 沙織 (近畿大学 医学部 附属病院)	

P022
遺族のケア2

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：柏木 雄次郎 (関西福祉科学大学 臨床心理学)

P022-1	当病棟において終末期鎮静を経験された遺族を対象としたインタビュー調査	237
	小池 幸代 (耳原総合病院)	
P022-2	訪問看護ステーションにおける遺族ケアに関する全国調査	237
	工藤 朋子 (岩手県立大学 看護学部)	
P022-3	緩和ケア病棟が実施するグリーフケアの検討 (1)	
	－遺族会がもたらす家族の心理的効果の分析－	237
	西藤 美恵子 (独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター)	
P022-4	緩和ケア病棟が実施するグリーフケアの検討 (2)	
	－遺族会がもたらす家族の心理的効果の分析－	238
	芥川 亘 (独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター)	

P022-5	家族参加型エンゼルケアに対する評価とその関連要因 ー遺族へのインタビューを通してー	238
	渡辺 愛子 (宗教法人聖フランシスコ病院会 聖フランシスコ病院)	
P022-6	追悼記念会が遺族にもたらす意味とは～参加遺族のアンケートを通して～	238
	長屋 眞弓 (医療法人社団 洞仁会 洞爺温泉病院 ホスピス緩和ケア病棟)	
P022-7	当院緩和ケア病棟における遺族会のあり方の検討	238
	幣原 佐衣子 (シムラ病院)	
P022-8	「旅立ち入浴」に参加した遺族の満足感とPHQの関係	239
	北得 美佐子 (関西医療大学保健看護学科)	

P023

相談支援・がんカウンセリング1

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：田中 俊行 (高崎総合医療センター 外科・緩和医療科)

P023-1	うつ病を抱える不安の強い女性がん患者に対し、対話を重ねて支えた1例	239
	矢部 浩美 (草加市立病院 看護部)	
P023-2	看護相談室専従の緩和ケア認定看護師による横断的かつ継続的看護実践	239
	三堀 いずみ (社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院)	
P023-3	乳がん患者を支える家族との関わりを通して、がん相談支援センターの役割を考える ～治療期から死別後まで～	239
	岩井 久代 (徳島市民病院)	
P023-4	相談者におけるがん相談支援センターの評価	240
	佐藤 恵子 (長野赤十字病院 地域医療連携室)	
P023-5	認定看護師によるがん看護相談窓口の現状	240
	東倉 亜希子 (王子総合病院)	
P023-6	がん看護相談の現状と課題～がん患者指導料算定外症例に注目する～	240
	矢野 奈緒 (地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川西市民病院)	
P023-7	医師と連携した専門・認定看護師によるがん患者カウンセリングの現状と課題 ーがん患者総合サポートシステムの立ち上げー	240
	杉江 礼子 (大津市民病院緩和ケア病棟)	
P023-8	がん患者カウンセリングの現状分析と今後の課題	241
	町永 弘美 (公立大学法人 横浜市立大学附属病院 看護部)	
P023-9	緩和ケアにおける、苦痛のスクリーニング導入と対応の取り組みに関する報告	241
	入江 佳子 (筑波大学附属病院 緩和ケアセンター)	
P023-10	がん医療における意思決定支援の現状と課題	241
	山内 洋子 (市立池田病院 看護部)	

P024

相談支援・がんカウンセリング2

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：江口 恵子 (社会医療法人博愛会 相良病院)

P024-1	意思決定支援についての活動状況と今後の課題	241
	光延 厚子 (JCHO 諫早総合病院)	
P024-2	外来におけるがん患者への意思決定支援の現状 ～がん化学療法看護認定看護師のがん患者カウンセリングの介入に焦点をあてて～	242
	石井 朋子 (兵庫県立柏原病院看護部)	

P024-3	がん患者と家族は終末期の軌跡を理解しているのか？ …………… 242 高世 秀仁（信愛報恩会 信愛病院 緩和ケア科）
P024-4	肺がん告知後の外来がん看護面談に「がんになったら手にとるガイド」を用いた効果に関する検討 …………… 242 藤本 喜久恵（名古屋第一赤十字病院 看護部）
P024-5	診断早期の乳がん患者に対する看護面談に必要な看護師のコミュニケーション技術の検討 …………… 242 堀 涼恵（名古屋大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 博士課程前期課程、愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 看護部）
P024-6	愛媛県内のがん相談支援センターにおける課題（第2報） …………… 243 菊内 由貴（熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻）
P024-7	「がん患者指導管理料2」の面談内容における現状と今後の課題 …………… 243 平野 久美子（岩手県立宮古病院 看護科）
P024-8	当院における緩和ケア看護外来の現状と課題 …………… 243 廣瀬 公美（青森県立中央病院 緩和ケアチーム）
P024-9	がん告知、転移再発等の面談に同席した患者の苦痛症状の評価と支援状況 …………… 243 奥澤 直美（独立行政法人 国立病院機構 西群馬病院 看護部）
P024-10	悲嘆カウンセリング外来開設6ヶ月の経験 …………… 244 増田 亨（桑名西医療センター緩和ケアチーム）

P025	6月19日(金)17:30-18:30
ピアサポート・患者会・家族会、社会的・経済的問題・就労の問題	ポスター会場

	座長：山田 祐（埼玉県立がんセンター 精神腫瘍科）
P025-1	乳がん治療継続のための緩和ケア外来での支援とピア・サポートの活用 …………… 244 中辻 香邦子（公益財団法人 筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院 看護部 緩和医療科）
P025-2	常設がんサロンにおける現状と今後の課題 …………… 244 村上 比呂子（大崎市民病院 がんセンター 相談診療支援室、大崎市民病院 総合医療支援センター 相談支援室（がん相談支援センター））
P025-3	地域でのピアサポートを！院外型がんサロン開催の取り組み …………… 244 引野 雅子（医療法人茅青会 内山クリニック）
P025-4	院内がんサロン開設後1年の現状と課題 …………… 245 吹田 智子（箕面市立病院 緩和ケアチーム、箕面市立病院 がん診療推進部）
P025-5	日本のがん患者会に関する文献研究～東日本大震災後のがん患者会活動への影響を明らかにするために～ …………… 245 柳谷 利恵（公立大学法人 宮城大学）
P025-6	乳腺サロン参加者の満足度調査について …………… 245 高橋 孝輔（愛知県がんセンター愛知病院 呼吸器内科）
P025-7	公的医療保険・経済的問題へのMSWの介入。国民健康保険法44条の活用を通して …………… 245 及川 佑介（砂川市立病院 緩和ケアチーム）
P025-8	がん患者の就労問題・経済的問題に関する社会保険労務士とファイナンシャルプランナーによる相談事業の実績 …………… 246 賢見 卓也（特定非営利活動法人がんと暮らしを考える会、医療法人社団パリアン）
P025-9	平成24年度診療報酬改定は緩和ケア病棟の入院患者の動向に影響を与えたか？ …………… 246 岩田 尚士（医療法人社団曙会 シムラ病院 緩和ケア病棟）

P025-10	化学療法中の乳がん患者が就労を継続する上での困難	246
	鈴木 敦子 (宮城大学 看護学部)	
P025-11	がん相談支援センターにおける就労相談ニーズの現状： がん患者就労相談事業の利用状況に関する実態調査	246
	久村 和穂 (金沢医科大学 腫瘍内科学・金沢医科大学病院 集学的がん治療センター)	

P026

6月19日(金)17:30-18:30

コミュニケーション、ケアギバーのストレス・燃え尽き症候群

ポスター会場

座長：間島 竹彦 (国立病院機構西群馬病院 精神腫瘍科)

P026-1	緩和的治療により社会復帰を果たした子宮体癌IVb期の1例	247
	佐々木 康 (昭和大塚藤が丘病院 産婦人科)	
P026-2	事例研究:「援助的関係性」の主たる構成要素に関する考察	247
	土屋 静馬 (昭和大塚横浜市北部病院 総合内科)	
P026-3	A病院のがん患者とのコミュニケーションに関する看護師教育の取り組み	247
	深田 陽子 (日本医科大学付属病院)	
P026-4	チーム(委員会) コラボ・コミュニケーション・スキル・トレーニングを開催して	247
	大津 裕佳 (三菱京都病院)	
P026-5	クレームが苦しみか?~終末期がん患者の怒りへの応対~	248
	長久 栄子 (医療法人真生会 真生会富山病院 緩和ケアチーム)	
P026-6	外来通院時からの患者支援・早期介入を試みて	248
	小泉 由記子 (国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 看護部)	
P026-7	緩和ケアにおけるコミュニケーションスキルアップを目指したマニュアル作成への取り組み ~アンケート調査からみえたもの~	248
	松岡 綾美 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院 緩和ケアチーム、 社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院 看護部)	
P026-8	患者に対し陰性感情をもった時の看護師の関わり方について	248
	小西 ひかる (JA静岡厚生連 清水厚生病院 緩和ケアチーム)	
P026-9	緩和ケア病棟に勤務する看護師の感情労働とストレス反応の関連	249
	打田 絵里世 (島根大学 医学部 附属病院 看護部)	
P026-10	看護師の終末期ケア効力感に対する介入支援の効果	249
	伊藤 まゆみ (共立女子大学 看護学部)	
P026-11	ケアの限界に直面した医師のスピリチュアルペインの存在論的検討	249
	の場 康徳 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 腫瘍学講座)	

P027

6月19日(金)17:30-18:30

アドバンス・ケア・プランニング、意思決定1

ポスター会場

座長：齋藤 義之 (新潟県立がんセンター新潟病院)

P027-1	アドバンスケアプランニングの構造的問題点	249
	堀木 優志 (市立伊丹病院 緩和ケアチーム)	
P027-2	緩和ケア病棟へ転院となった患者への関わり —アドバンス・ケア・プランニングの視点から意思決定支援を考える—	250
	石川 央 (地方独立行政法人 明石市立市民病院)	
P027-3	アドバンスケアプランニングを実践し看護ケアに活かした1事例	250
	北野 弘美 (石川県立中央病院 看護部)	

P027-4	緩和ケア病棟だからこそできたこと ～食べる喜びを取り戻すことでQOLの向上に繋がった頸部食道腫瘍患者の一例～	250
	倉井 槇 (済生会松阪総合病院 緩和ケア病棟)	
P027-5	患者の意志決定を支えるためチーム医療に必要とされる心構えとはなにか	250
	野池 輝匡 (社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 がん集学治療センター 緩和ケア科、 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 緩和ケア支援チーム)	
P027-6	皆で支える在宅療養移行支援の一例 ～終末期がん患者の「自分らしく生きること」を支えた看護～	251
	菊池 睦恵 (盛岡赤十字病院緩和ケア病棟)	
P027-7	維持血液透析を受けている終末期がん患者への意思決定支援	251
	根岸 恵 (聖隷横浜病院 緩和ケアチーム)	
P027-8	終末期における、がん化学療法中止のための意思決定支援	251
	小森 喜見枝 (関西医科大学香里病院)	
P027-9	日常生活活動が限界になるまで受診できなかった進行乳がん患者の意思決定支援	251
	坂口 由紀子 (社会医療法人博愛会 相良病院 看護部)	
P027-10	余命宣告をされずに完治を望む終末期がん患者の意思決定プロセスでの検討と反省	252
	吉澤 龍太 (地方独立行政法人 那覇市立病院)	

P028

アドバンス・ケア・プランニング、意思決定2

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：辻川 真弓 (三重大学医学部 看護学科)

P028-1	外来診療におけるアドバンス・ケア・プランニングの取り組み	252
	山内 洋子 (市立池田病院 看護部)	
P028-2	問診票を活用することによるアドバンスケアプランニングを行い BestSupportiveCareを実践できた2事例の検討	252
	岡脇 誠 (川崎医科大学 臨床腫瘍学)	
P028-3	終末期がん患者の意志決定と自宅退院を支援した一症例についての考察	252
	黒木 美貴 (医療法人善仁会 宮崎善仁会病院)	
P028-4	病院から在宅へのアドバンス・ケア・プランニングの継続	253
	新垣 るみ (社会医療法人博愛会 相良病院 看護部)	
P028-5	特定機能病院における医療者の終末期意思決定支援に対する認識調査	253
	田村 貴子 (大阪市立大学医学部附属病院)	
P028-6	進行・再発固形がん患者の意思決定支援の現状 —医療ソーシャルワーカーを対象として—	253
	東樹 京子 (独立行政法人 国立がん研究センター 中央病院)	
P028-7	終末期がん患者が希望の療養場所で最期を迎えるための課題	253
	岩崎 朋子 (済生会熊本病院 呼吸器・腫瘍・糖尿病センター)	
P028-8	Advanced care planningに関する進行がん患者の希望	254
	白土 明美 (聖隷三方原病院 臨床検査科)	
P028-9	切除不能がん患者に対するACP支援における看護師の役割	254
	得能 裕子 (松山赤十字病院)	
P028-10	超高齢(85歳以上)の在宅がん終末期患者が考える病状認識と 療養希望の意思表示に関する検討	254
	石巻 静代 (ケアタウン小平クリニック)	

PO29
アドバンス・ケア・プランニング、意思決定3

6月19日(金)17:30-18:30
 ポスター会場

座長：横埜 良江（広島大学病院）

-  **PO29-1 進行・再発固形がん患者の意思決定支援の現状—看護師を対象として—** 254
 細矢 美紀（国立がん研究センター がん対策情報センター）
- PO29-2 高齢者の意思決定支援に向けたノート作成の取り組み（第2報）
 ～ノートの内容に関するコンセンサスの調査～** 255
 佐藤 裕美（独立行政法人 国立長寿医療研究センター）
-  **PO29-3 がん患者の終末期医療移行への意思決定を支えるがん看護専門看護師の援助の実際** 255
 寺町 芳子（大分大学 医学部 看護学科）
- PO29-4 がん終末期患者のDNRIに関する意向の変化** 255
 二井矢 ひとみ（医療法人 東札幌病院 看護部）
- PO29-5 医師における進行・再発固形がん患者の意思決定支援の現状** 255
 木村 安貴（国立がん研究センター中央病院）
- PO29-6 アドバンス・ケア・プランニングと臨床倫理に関する研修会の実施とその評価** 256
 木澤 義之（神戸大学 大学院 医学研究科 先端緩和医療学分野）
- PO29-7 緩和ケア病棟における意思決定支援の介入が看護師の困難感に与える影響** 256
 黍江 朱保（藤田保健衛生大学病院 看護部）
- PO29-8 転移性乳がん患者の治療決定プロセスにおける希望** 256
 深江 亜衣（社会医療法人博愛会 相良病院 看護部）
- PO29-9 終末期患者の意思決定支援時の看護師の困難に立ち向かう要因** 256
 沢田 浩美（総合病院 伊達赤十字病院）
-  **PO29-10 終末期医療に関する意思決定者の違いの関連要因と受ける医療や
 Quality of Lifeへの影響** 257
 岩淵 正博（東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野）

PO30
倫理的問題、死生学・死生観・哲学

6月19日(金)17:30-18:30
 ポスター会場

座長：竹之内 沙弥香（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 臨床看護学講座 生活習慣病看護学分野）

- PO30-1 転倒を繰り返した事例から、緩和ケア病棟において大切なことを考える** 257
 神崎 ゆみ（岩手県立磐井病院 緩和ケア病棟）
- PO30-2 人工呼吸器を外し治療も一切いらないと訴えた家族に
 医療・ケアチームのジレンマと対応の検討** 257
 岩崎 美幸（飛騨市民病院）
- PO30-3 病状説明の意向について相違が生じた終末期がん患者家族の支援に関する倫理的考察** 257
 山本 静香（静岡県立静岡がんセンター 看護部）
- PO30-4 総合病院一般病棟のデスカンファレンスで語られた看護師のモラルディストレスと
 看護師への支援** 258
 井上 玲子（公立福生病院、元青梅市立総合病院）
- PO30-5 患者・家族の思いや意向に対して意図的に介入するために
 第1段～看護師のJonsenの4分割表に沿った情報の捕らえ方の実態調査～** 258
 松本 亜沙美（独立行政法人国立病院機構小倉医療センター）

P030-6	臨床倫理検討ホームページ開設への取り組み	258
	鳥 和子 (独立行政法人 労働者健康福祉機構 香川労災病院 緩和ケアチーム、 臨床倫理委員会)	
P030-7	ロゴセラピーの視点からスピリチュアルペインを考え対応する試み	258
	山田 圭輔 (金沢大学附属病院 緩和ケアチーム)	
P030-8	死や生について主体的に考え、語り、発信する大学生の活動報告 一看取り経験豊かな訪問看護師に学び、語り合うことの意味	259
	大浦 まり子 (岡山大学大学院 保健学研究科 看護学分野)	
P030-9	療養通所介護職員のターミナルケア態度に関する調査研究	259
	東 千浩 (奈良県立医科大学附属病院)	

PO31

その他の精神・心理・社会的ケア・倫理的問題

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：谷 一彦 (福井県済生会病院 精神科、緩和ケア)

P031-1	癌末期患者の状態像の評価—バウムテストが有効であった一例—	259
	清水 純也 (医療法人社団 ほがらか会 室井整形外科・心療内科)	
P031-2	緩和ケア病棟における認知症患者の実態報告	259
	越智 拓良 (松山ベテル病院 ホスピス)	
P031-3	闘う意向実態：進行がん患者の、標準的がん治療の継続が難しくなった場合のがん治療の意向の実態 ～臨床ベースの入院患者2586名全例調査(1)～	260
	小田 尚伸 (九州がんセンター 消化管・腫瘍内科)	
P031-4	治療継続背景探索：進行がん患者は、果たして化学療法の目的を正しく認識しているか？ ～臨床ベースの入院患者2586名全例調査(2)～	260
	大谷 弘行 (九州がんセンター 緩和ケアチーム)	
P031-5	治療継続背景探索：多くの進行がん患者が、自身を進行がんと実感できない要因は？PSの実態 ～臨床ベースの入院患者2586名全例調査(3)～	260
	大谷 弘行 (九州がんセンター 緩和ケアチーム)	
P031-6	患者支援の留意点：進行がん患者の価値観とコーピングの多様性の実態 ～臨床ベースの入院患者2586名全例調査(4)～	260
	大谷 弘行 (九州がんセンター 緩和ケアチーム)	
P031-7	患者支援の留意点：進行がん患者の意思表示困難時の前もったケア計画の表明の実態 ～臨床ベースの入院患者2586名全例調査(5)～	261
	大谷 弘行 (九州がんセンター 緩和ケアチーム)	
P031-8	患者支援の実践：意思決定支援のための「入院時毎の間診票」と「患者家族教室」の影響か？ ～最後のがん専門病院入院から緩和ケア専門病棟転院までの日数の有意な短縮～	261
	大谷 弘行 (九州がんセンター 緩和ケアチーム)	
P031-9	医療者自身の死生観を振り返る大切さ ～否定的な死のイメージが多い現状とその理由～	261
	川見 綾子 (長田病院)	
P031-10	否定的な死生観を持ち合わせた医療者が自らの臨終期に切望すること ～無意識に患者に価値観を押し付けられないために自らのことを知ることから始まる～	261
	近松 あや (九州がんセンター 緩和ケアチーム)	
P031-11	死亡時に家族が間に合わなかった症例を振り返って	262
	川 二美 (医療法人社団 いちえ会 洲本伊月病院 看護部)	

**P032
在宅緩和ケア1**

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：関本 雅子（医療法人社団関本クリニック）

- P032-1 弟が治療しないのは告知したからと怒りを表出する姉との関わりを通して 262
安藤 和子（社会医療法人 小寺会 介護センターふれあい ふれあい訪問看護ステーション）
- P032-2 在宅クリニック看護師がコーディネーターとなり、
ケミカルコーピング状態であった患者の在宅での見取りを可能とした1例 262
久保 佳子（帝京大学 医学部 緩和医療学講座、いずみホームケアクリニック）
- P032-3 在宅終末期がん患者に対してモーズベストを使用した一例 262
矢野 順子（ふくしま緩和ケア訪問看護ステーション）
- P032-4 在宅緩和ケアにおいて、多職種（訪問薬剤師・訪問看護師）と連携し、
患者自己調節鎮痛法（PCA）を行いながら、在宅看取りに至った2事例 263
野本 文子（医療法人社団友輝会 ひのわクリニック鶴見）
- P032-5 終末期がん患者に臨床宗教師が関わった事例 263
田中 純一（ふくしま緩和ケア支援事業所）
- P032-6 無断離院、自主退院を契機に患者が希望する形態で終末期医療を導入できた1例 263
山形 寿文（横須賀市立市民病院）
- P032-7 仮設住宅で在宅緩和ケアを行った東日本大震災被災者の一例 263
佐藤 一（岩手県立千厩病院 外科）
- P032-8 くも膜下鎮痛法を導入し在宅療養に移行した4症例の検討 264
佐久間 詠理（医療法人社団 淳友会 わたクリニック）
- P032-9 医師・看護師・薬剤師によるシームレスな緩和ケアサポートにより
長期の在宅療養が実現した下咽頭領域癌の1例 264
河相 覚（真生会富山病院 緩和ケア内科）
- P032-10 多職種連携により、時期を逸しない退院調整・在宅受け入れを実現し、
在宅看取りを迎えた3症例の検討 264
野本 文子（医療法人社団友輝会 ひのわクリニック鶴見）
- P032-11 在宅緩和ケアを継続しながら、自宅で最期を迎えるために必要なこと
～患者と家族、在宅医、訪問看護師の立場から考える～ 264
野本 文子（医療法人社団友輝会 ひのわクリニック鶴見）

**P033
在宅緩和ケア2**

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：佐藤 恭子（昭和大学病院 リハビリテーション医学講座）

- P033-1 超短期間在宅看取り介入の経験
ーがん診療連携拠点病院退院翌日に死亡した 直腸癌終末期患者の支援ー 265
柴原 弘明（おかもとクリニック）
- P033-2 終末期前立腺癌患者へのエネーボ（カルニチン含有栄養剤）投与の経験 265
柴原 弘明（おかもとクリニック）
- P033-3 ターミナル後期の進行がん患者に対する共同訪問入浴の検討 265
田實 武弥（一般財団法人 とちぎメディカルセンター 緩和医療部 在宅ホスピス）
- P033-4 大阪市城東区の取り組み
～人生の最終段階における医療についての市民アンケートの報告～ 265
横山 頼子（大阪市城東区訪問看護ステーション管理者会「JOINT・SONJ」）

P033-5	在宅緩和医療推進のための医療・介護地域ネットワーク構築への試み ～コアとなる看護師・薬剤師の人材育成に向けて～	266
	松浦 明海 (名古屋市守山区訪問看護ステーション)	
P033-6	訪問看護ステーションで関わったがん患者が再入院、ERを受診した原因	266
	加藤 麻樹子 (さわやか訪問看護リハビリステーション)	
P033-7	東電福島第一原発事故後に急遽始まった当院での在宅緩和ケア	266
	神戸 敏行 (南相馬市立総合病院 呼吸器科)	
P033-8	当院の在宅緩和ケア支援における在宅看取りの現状	266
	渡辺 陽子 (尾道市立市民病院 緩和ケアチーム)	
P033-9	在宅療養支援診療所が救急搬送を依頼する頻度	267
	小澤 竹俊 (めぐみ在宅クリニック)	
P033-10	終末期がん患者の在宅医療継続の障壁となりうる「せん妄」に関する 教育プログラムの有用性について	267
	井上 真一郎 (岡山大学病院 精神科神経科)	

P034

在宅緩和ケア3

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：坂下 美彦 (千葉県がんセンター)

P034-1	当院における在宅緩和の現状と問題点について	267
	石黒 要 (公立能登総合病院 緩和ケアチーム)	
P034-2	在宅緩和ケアにおける医療用麻薬処方内容の分析	267
	新屋 洋平 (沖縄県立中部病院 地域ケア科)	
P034-3	在宅がん患者におけるPCAポンプを用いたオピオイド投与の現状	268
	大和 太郎 (やまと@ホームクリニック)	
P034-4	大阪府訪問看護ステーション協会の取り組み ～在宅でのエンド・オブ・ライフケアにおける意思決定支援の研修の効果と今後の課題～	268
	森谷 和代 (大阪府訪問看護ステーション協会、 大阪府訪問看護ステーション協会学術研修委員会、 大阪府訪問看護ステーション協会在宅の専門看護師&認定看護師の会)	
P034-5	在宅緩和ケアにおける近畿二府四県の訪問看護認定看護師の認識 ～緩和ケア実践に関する医療者の自己評価尺度を用いて～	268
	森谷 和代 (テイク・ケア訪問看護ステーション)	
P034-6	訪問診療を利用して看取りを行った患者家族の看取りの満足度に関連する要因の検討 ～遺族へのアンケートを通して～	268
	永島 徳人 (つばさ在宅クリニック)	
P034-7	当院で在宅看取りを行ったがん患者遺族へのCES短縮版を用いた質問紙調査結果の報告	269
	上林 孝豊 (小笠原内科)	
P034-8	在宅緩和ケア導入後における、レスパイト入院による在院看取り症例の検討	269
	角南 栄二 (新潟県立六日町病院 外科)	
P034-9	緩和ケア病棟から退院後の在宅看取りに至った症例と緩和病棟死亡症例の検討	269
	渡辺 啓太郎 (岡山赤十字病院)	
P034-10	在宅緩和ケア療養者の死に関わる訴えに対する看護師の情動・認知と行動	269
	松本 幸姫 (群馬大学 医学部 保健学科)	

 マークは優秀演題です。

**P035
在宅緩和ケア4**

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：上林 孝豊（小笠原内科）

- P035-1 **在宅緩和ケアを受けた終末期がん患者の自宅死亡の関連要因：多施設診療記録調査** …… 270
 佐藤 一樹（東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野）
- P035-2 **在宅緩和ケアの質担保に向けたチェックリストおよび教育プログラムの開発（第1報）
—文献検討—** …… 270
田口 敦子（東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生看護学分野）
- P035-3 **在宅ALS患者と家族に対する音楽療法の有益性** …… 270
中山 ヒサ子（NPO法人 和・ハーモニー音楽療法研究会）
- P035-4 **在宅緩和ケアを受けた終末期がん患者の現況調査** …… 270
橋本 孝太郎（ふくしま在宅緩和ケアクリニック）
- P035-5 **在宅緩和ケアの質担保に向けたチェックリストおよび教育プログラムの開発（第2報）
—訪問看護師調査による検討—** …… 271
白川 美弥子（ひと息の村訪問看護ステーション）
- P035-6 **在宅緩和ケアの質担保に向けたチェックリストおよび教育プログラムの開発（第3報）** …… 271
矢津 剛（矢津内科消化器科クリニック）
- P035-7 **がん終末期患者の看取り場所並びに自宅で過ごせた割合に影響する
訪問看護ステーションの背景因子** …… 271
笹尾 佐喜美（ひばり訪問看護ステーション）
- P035-8 **アンケート調査による訪問看護ステーションにおける緩和ケアに関する困難** …… 271
山下 郁子（訪問看護ステーションさくらんぼ）
- P035-9 **在宅緩和ケアにおける療養形態の変遷と救急外来の重要性** …… 272
松添 大助（今給黎総合病院 緩和医療科）
- P035-10 **在宅緩和ケアを受けた患者の予後の比較調査
～本当に「病院にいた方が長生きする」のか～** …… 272
 村上 望（厚生連高岡病院 緩和ケア外科）

**P036
退院支援・退院調整1**

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：深堀 浩樹（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 看護システムマネジメント学）

- P036-1 **スムーズな在宅療養移行に向けて～お約束カードの効力～** …… 272
齋藤 春美（山形県立河北病院 看護部）
- P036-2 **在宅療養移行の為に着眼点10項目を参考に検討した1例
—終末期がん患者の希望を支えるための看護—** …… 272
丹野 英李花（社会医療法人社団 カレスサポロ時計台記念病院）
- P036-3 **「島で最期を迎えたい」その思いにこたえるために** …… 273
加藤 博美（公益社団法人共済会 南風病院 診療部）
- P036-4 **終末期で在宅生活を希望した壮年期女性患者への家族支援
～家族構成員である夫・娘・息子への関わりを振り返る～** …… 273
熊谷 周子（盛岡赤十字病院緩和ケア病棟）
- P036-5 **最期の正月はむーとやー（本家）で
～患者・家族の希望を叶えるための介入を通して～** …… 273
目差 由香里（社会医療法人 敬愛会 中頭病院 呼吸器内科病棟）

P036-6	1週間の短期退院により自宅で最期の正月を迎えられた肺癌末期患者の事例 …………… 273 木村 沙那恵 (佐世保中央病院 リハビリテーション部 理学療法課)
P036-7	がん患者と家族の希望を支える職場作り—訪問実習の輪を広げて— …………… 274 友安 えりか (地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立急性期総合医療センター)
P036-8	急性期病院における意思決定支援に主眼をおいた担癌患者の退院調整の取り組み …………… 274 松岡 サチ子 (西知多厚生組合 知多市民病院 退院支援室)
P036-9	緩和ケア患者の早期自宅退院に向けた取り組み …………… 274 大隈 統 (武蔵台病院 緩和ケアチーム)
P036-10	PCAポンプを使用したオピオイド経口投与困難症例での外出外泊支援と問題点 …………… 274 山崎 裕 (市立函館病院 緩和ケア科、市立函館病院 緩和ケアチーム)
P036-11	早期在宅移行における合同カンファレンス (JOINT CONFERENCE) 開催の問題点 …… 275 福島 剛 (市立千歳市民病院 外科)

P037

6月19日(金)17:30-18:30

退院支援・退院調整2、緩和ケアにおける地域連携1

ポスター会場

座長：佐藤 将之 (みらい在宅クリニック)

P037-1	終末期頭頸部癌患者の療養場所の選択に影響する要因についての検討 …………… 275 横田 志保 (小牧市民病院 耳鼻咽喉科)
P037-2	退院のタイミングを感じる時～MSW介入から見えたもの～ …………… 275 増田 由美 (磐田市立総合病院 相談支援センター、磐田市立総合病院 緩和ケアチーム)
P037-3	在宅緩和ケアにおける緩和ケア病棟の位置づけ ～緩和ケア病棟の入退院状況と希望する療養場所～ …………… 275 平野 拓司 (岩手県立磐井病院 緩和医療科)
P037-4	がん終末期患者の自宅退院支援～退院前訪問指導を利用した同行訪問を試みて～ …………… 276 出井 絢子 (かみつが厚生連 上都賀総合病院 緩和ケアチーム)
P037-5	訪問看護師とのデスクカンファレンスからみえてきた退院支援の課題 ～急速在宅療養を決断し在宅看取りをしたがん患者2例を通して～ …………… 276 柿本 久美子 (兵庫県立加古川医療センター)
P037-6	在宅緩和ケアにおけるがん診療連携拠点病院と在宅医療スタッフの連携 ～IT (ism-Link：飯田下伊那診療情報連携システム) を活用して～ …………… 276 清水 美穂子 (飯田市立病院 緩和ケアチーム)
P037-7	地域多業種で連携し、癌に罹患した知的障害者の代理意思決定を行った一症例 …………… 276 相木 佐代 (医療法人社団有隣会 東大阪病院 緩和ケア内科)
P037-8	インターベンショナル痛み治療の病院間連携を行った1症例 …………… 277 城戸 晴規 (大阪医科大学 麻酔科学教室)
P037-9	在宅医療へのスムーズな移行を行えた一例 ～愛媛県在宅緩和ケア推進モデル事業を通して～ …………… 277 前原 伸一郎 (松山赤十字病院 外科)
P037-10	在宅医療連携拠点機能を活用した終末期の療養環境調整の取り組み …………… 277 安田 和史 (一般社団法人 玉名郡市医師会立 玉名地域保健医療センター 緩和ケア委員会)
P037-11	自宅療養を希望した平滑筋肉腫の1例に対する院内多職種と在宅医の連携による緩和ケア …… 277 川島 寛之 (新潟大学医歯学総合病院)

P038

緩和ケアにおける地域連携2

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：齊藤 英一（東京都健康長寿医療センター）

- P038-1 **DASを用いた緩和ケア地域連携バス・情報共有システム** 278
宮森 正（川崎市立井田病院・かわさき総合ケアセンター）
- P038-2 **当院における終末期がん在宅ネットワーク連携** 278
池田 剛司（公立那賀病院 呼吸器内科・緩和ケア科）
- P038-3 **第1回地域緩和ケアを進める会を振り返る** 278
野溝 弘子（安曇野赤十字病院緩和ケアチーム）
- P038-4 **緩和ケア病棟とかかりつけ医との連携による、
人生の最終段階にある癌患者の在宅看取り推進の取り組み** 278
吉村 純彦（高砂市民病院 緩和ケア内科）
- P038-5 **熊本県「私のカルテ」から5年、在宅緩和ケア連携への新たな取り組み
～全県統一「在宅緩和ケア地域連携バス」から「私のノート」運用に向けて～** 279
濱口 裕光（荒尾市民病院、熊本県がん診療連携協議会）
- P038-6 **東京都での在宅療養支援診療所を拠点とした在宅緩和ケアチーム構築の実践と
有用性について** 279
市川 敦央（立川在宅ケアクリニック）
- P038-7 **地域と大学病院の架け橋に～当院緩和ケアチームにおける在宅医配置前後の動向～** 279
児玉 麻衣子（福井大学 医学部 附属病院 緩和ケアチーム、
福井大学 医学部 附属病院 腫瘍病態治療学講座）
- P038-8 **滋賀県湖北地域における多職種連携のための研究会の開催と成果** 279
花木 宏治（市立長浜病院）
- P038-9 **地域連携に支えられる在宅療養支援型緩和ケア病棟の活動報告
（緩和ケア病棟が地域緩和ケアを活性化できるか）** 280
佐野 広美（医療法人財団慈生会 野村病院 緩和ケア内科）
- P038-10 **福井県緩和医療研究会・福井県がん在宅緩和ケア推進検討会による
「在宅緩和ケア地域連携バス」の県内普及活動、第2報** 280
加藤 泰史（独立行政法人 国立病院機構 福井病院、福井県緩和医療研究会）
- P038-11 **切れ目のない緩和医療を目指して～がん難民における地域中規模病院の役割～** 280
千葉 彩（汐田総合病院）

P039

緩和ケアにおける地域連携3

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：宇野 さつき（医療法人社団新国内科医院）

- P039-1 **地域がん診療連携拠点病院緩和ケアチームと診療所と
在宅コメディカルのITを用いた地域連携の活動報告** 280
山田 武志（飯田市立病院 緩和ケア内科、飯田市立病院 緩和ケアチーム）
- P039-2 **終末期がん患者の在宅診療における現状と問題点** 281
宮津 依公子（JA山口厚生連長門総合病院）
- P039-3 **緩和ケア科初診時からの連携訪問診療医への紹介は、在宅での看取りを増やせたか** 281
高橋 修（医療法人平和会 平和病院 緩和ケア科）
- P039-4 **緩和ケア外来における保険薬局への連絡用紙の活用** 281
天野 博子（新潟県立中央病院 薬剤部）

P039-5	当院緩和ケア病棟における在宅を希望された患者に対する地域連携 ～あんしんできる地域連携をめざして～	281
	長谷川 喜一 (和泉市立病院 腫瘍内科)	
P039-6	東広島地区におけるがん終末期の在宅移行の障害～ケアカフェの話題から検討する～	282
	瀧井 智実 (東広島医療センター)	
P039-7	東京都版緩和ケア連携手帳の開発過程とその工夫、これからの課題	282
	田中 桂子 (がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科、 東京都がん診療連携協議会 クリティカルパス部会 緩和ケア委員会)	
P039-8	薬業連携推進に向けた薬剤師介入の現状と課題 －「緩和ケア・終末期医療」に関する病院薬剤師へのアンケート結果から－	282
	鷹野 理 (社会福祉法人 三井記念病院 薬剤部、社会福祉法人 三井記念病院 緩和ケアチーム、 浅草かんわネットワーク研究会)	
P039-9	地域の緩和ケアの意識向上を目指した取り組み－在宅緩和ケア交流会を通して－	282
	平野 千穂 (福島県立医科大学 会津医療センター附属病院 緩和ケアセンター)	
P039-10	緩和ケアの普及と地域連携の推進に向けて －地方一般病院と訪問看護ステーションとの顔の見える関係作り－	283
	隅田 美紀 (総合病院中津川市民病院 薬剤部)	

P040

6月19日(金)17:30-18:30

緩和ケアにおける地域連携4

ポスター会場

座長：蘆野 吉和 (社会医療法人 北斗 地域包括ケア推進センター、在宅医療科、総合診療科、緩和医療科)

P040-1	滋賀県緩和ケア地域連携クリニカルパスの普及活動	283
	瀬戸山 博 (独立行政法人 国立病院機構 東近江総合医療センター、 滋賀県がん診療連携協議会、滋賀医科大学)	
P040-2	在宅PCAポンプのレンタル代理店を在宅酸素業者に委託する「出雲モデル」の取り組み	283
	今田 敏宏 (島根県立中央病院 緩和ケアチーム)	
P040-3	在宅PCAポンプ研修会の意義	283
	今田 敏宏 (島根県立中央病院 緩和ケアチーム)	
P040-4	緩和ケア病棟退院後の看護サマリー送付の試み	284
	加治佐 直子 (市立芦屋病院)	
P040-5	緩和ケアの理解促進を目的とした診療圏に基づく 4施設合同緩和ケア病棟共通パンフレット作成の取り組み	284
	渡邊 紘章 (小牧市民病院 緩和ケア科、小牧市民病院 緩和ケア病棟、 尾張北部医療圏緩和ケア病棟連携会議)	
P040-6	緩和ケアチームの関わった患者の在宅緩和ケアへの移行に関する診療所医師、 訪問看護師への聞き取り調査	284
	林 優美 (広島大学病院 緩和ケアチーム)	
P040-7	がん疼痛マネジメントにおける病業連携の課題と取り組み	284
	河田 彩乃 (関西医科大学 香里病院 薬剤部)	
P040-8	がん診療拠点病院が主導する在宅医療推進を目指した麻薬処方軽減の試み	285
	福本 和彦 (磐田市立総合病院 消化器外科)	
P040-9	急性期病院認定看護師の在宅療養への関わり ～在宅療養スタッフとの協働から得られる効果～	285
	森 佳子 (砂川市立病院 がん相談支援センター)	

- PO40-10 緩和ケア外来をハブとした外来～在宅医療～
 緩和ケア病棟のシームレスな連携が、末期がん患者の希望する場での療養を支える …… 285
 廣橋 猛 (公益財団法人 ライフエクステンション研究所付属 永寿総合病院緩和ケア科)

PO41

6月19日(金)17:30-18:30

緩和ケアにおける地域連携5

ポスター会場

座長：古口 契児 (福山市民病院 緩和ケア科)

- PO41-1 在宅緩和ケアに関する地域連携バスの開発・運用と評価：実現可能性の調査研究 …… 285
 村上 望 (厚生連高岡病院 緩和ケア外科)
- PO41-2  都内の介護施設に勤務する看護師のがん患者に対する緩和ケアの実態と支援のあり方 …… 286
 宗定 水奈子 (がん・感染症センター都立駒込病院)
- PO41-3 OPTIMプロジェクトで地域診療所はどのように変化したか
 ～介入前後のアンケート調査の結果から～ …… 286
 鈴木 聡 (鶴岡市立荘内病院)
- PO41-4 訪問看護師からみた病院緩和ケア認定看護師との同行訪問の有用性 …… 286
 高島 留美 (市立砺波総合病院 看護部)
- PO41-5 都道府県がん診療連携拠点病院緩和ケアセンターが主催する緩和ケア病棟との
 連携カンファレンスの効果 …… 286
 田口 賀子 (地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター 緩和ケアセンター)
- PO41-6 離島地域の看護職員が抱える緩和ケアに関する困難感 …… 287
 今 香澄 (新潟県厚生連佐渡総合病院 緩和ケアチーム)
- PO41-7 緩和ケア認定看護師が行う在宅療養移行支援
 ～総合相談センターでの専門スタッフとの連携～ …… 287
 今野 なぎさ (JA北海道厚生連 旭川厚生病院 総合相談センター)
- PO41-8 がん終末期在宅療養患者における『在宅死』に至る要因分析 …… 287
 和泉 安弘 (岩手県立中部病院)
- PO41-9 地域で行う多職種デスカンファレンスの効果 …… 287
 坂口 良子 (医療法人財団 慈生会 野村訪問看護ステーション)
- PO41-10 『緩和ケア病棟入院申込面談まで1日、面談後入院まで3日以内』の取り組みによって、
 地域連携に与えた変化 …… 288
 東村 悦子 (誠心会 井上病院 医療ソーシャルワーカー)

PO42

6月19日(金)17:30-18:30

小児・若年者の緩和ケア、高齢者の緩和ケア1

ポスター会場

座長：尾形 明子 (広島大学大学院 教育学研究科)

- PO42-1 若年者の在宅看取りの1例 …… 288
 緑川 靖彦 (呉羽総合病院 外科)
- PO42-2 当院緩和病棟で経験した若年症例の臨床的検討 …… 288
 大湾 勤子 (国立病院機構沖縄病院緩和医療科)
- PO42-3 小児の白血病に対する同種造血幹細胞移植や他の抗がん治療に伴う口内炎による激痛緩和に、
 患児家族を交えた治療前カンファレンスを行うことは有用である …… 288
 権 哲 (京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座、
 京都府立医科大学 在宅チーム推進医療学講座)

PO42-4	当院緩和ケアチームの活動状況と今後の課題 289 瀬戸 真由里 (東京都立小児総合医療センター)
PO42-5	小児専門病院における看取りの場・グリーフケアにおいてスタッフが感じている困難感に関するアンケート調査 289 柏木 順子 (地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立子ども医療センター 緩和ケア普及室)
PO42-6	進行皮膚がんと認知症の合併が診断に影響した脳梗塞患者の一例 289 本間 英之 (新潟県立加茂病院 緩和ケア科)
PO42-7	施設入所の非がん高齢者における悪液質と死亡状況との関連性の予備的調査 289 目黒 道生 (医療法人社団 春陽会 みなみ歯科医院、鳥取市立病院 地域ケアセンター)
PO42-8	乳癌脳転移に対して全脳照射施行後に認知機能低下をきたし方針決定に難渋した1例 290 武知 浩和 (徳島大学大学院 胸部内分分泌腫瘍外科)
PO42-9	 非がん・高齢者疾患も対象に加えた緩和ケアチームのニーズと倫理コンサルテーション機能 290 久保川 直美 (国立長寿医療研究センター 薬剤部、国立長寿医療研究センター End Of Life Care Team)
PO42-10	 在宅療養支援診療所における死亡診断名についての調査～“老衰”と“肺炎”の境界～ 290 日下部 明彦 (横浜市立大学 医学部 総合診療医学、みらい在宅クリニック)
PO42-11	 高齢がん患者に対する死亡前2週間以内の化学療法の実施と緩和ケア介入の関係：DPCデータを用いて 290 佐野 元子 (東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 医療政策情報学講座)

PO43	高齢者の緩和ケア2、非がん患者の緩和ケア(認知症、呼吸器疾患、心疾患)	6月19日(金)17:30-18:30 ポスター会場
	座長：坂井 さゆり (新潟大学大学院 保健学研究科)	
PO43-1	外来化学療法を受ける在宅高齢がん患者の生活調整 291 名越 恵美 (岡山県立大学保健福祉学部看護学科)	
PO43-2	高齢者の非がん疾患における終末期の症状出現の検討 291 松井 美帆 (防衛医科大学校 医学教育学部 看護学科)	
PO43-3	認知症の幻覚妄想症状に酸棗仁湯が有効であった2症例 291 奥野 滋子 (医療法人社団若林会 湘南中央病院 在宅診療部、順天堂大学医学部附属順天堂医院 緩和ケアセンター)	
PO43-4	末期心不全患者の呼吸困難に対するオキシコドン注射剤の使用経験 291 石井 浩二 (長崎大学病院 緩和ケアチーム、長崎大学病院 麻酔科)	
PO43-5	末期心不全の呼吸困難に対しオキシコドン注の持続点滴が有効であった一症例 292 田中 雅幸 (関西医科大学附属枚方病院 薬剤部)	
PO43-6	緩和ケアチームにより介入を行った心不全患者3症例の経験 292 岩城 隆二 (関西医科大学 外科、関西医科大学 附属枚方病院 緩和ケアチーム)	
PO43-7	国立循環器病研究センターにおける、本邦初の循環器緩和ケアチーム活動の実際と浮かび上がってきた問題点 292 柴田 龍宏 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科、久留米大学 心臓・血管内科)	
PO43-8	人生の最期をどう迎えたいか？心不全患者を対象にしたアンケート調査の報告 292 菅野 康夫 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)	

 マークは優秀演題です。

PO43-9	間質性肺炎の終末期における臨床症状と治療の実態	293
	松沼 亮 (小松市民病院 呼吸器内科)	
PO43-10	慢性心不全患者の最期に関する実態調査	293
	田中 奈緒子 (兵庫県立姫路循環器病センター 看護部)	
PO43-11	当院における間質性肺炎終末期の現状	293
	中島 治典 (大垣市民病院 呼吸器内科)	

PO44

6月19日(金)17:30-18:30

非がん患者の緩和ケア(呼吸器疾患、心疾患、神経疾患)

ポスター会場

座長：西川 満則 (国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部/EOLケアチーム)

PO44-1	当院における非癌呼吸器疾患患者の緩和ケア オピオイド使用の実際と課題	293
	佐々木 暁子 (新潟県厚生連 長岡中央総合病院)	
PO44-2	末期心不全の症状緩和における塩酸モルヒネ持続静注の使用経験	294
	大石 醒悟 (兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科)	
PO44-3	独居ALS患者のリハビリテーション経験	294
	早乙女 貴子 (国立精神・神経医療研究センター病院 身体リハビリテーション科)	
PO44-4	クロイツフェルトヤコブ病終末期の患者をチームで在宅療養支援した例	294
	池田 薫 (貝塚病院 在宅診療科)	
PO44-5	ALS患者における緩和ケアの実践 ～多職種連携の支援により独居生活においてオピオイドが使用できた症例～	294
	花井 亜紀子 (国立精神・神経医療研究センター 看護部)	
PO44-6	緩和困難な苦痛を抱えるインフルエンザ予防接種後重症遷延ギランバレー症候群患者・ 家族に対して地域連携ケアを行った一例	295
	笹良 剛史 (友愛会 南部病院 緩和ケアチーム)	
PO44-7	神経筋難病・重症心身障害者(児) 病院における多職種による緩和ケアサポートチームの 設立と活動	295
	池田 篤平 (国立病院機構 医王病院 神経内科)	
PO44-8	筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者の痛みの把握および鎮痛剤に関する検討	295
	八本 久仁子 (独立行政法人国立病院機構 柳井医療センター 薬剤科)	
PO44-9	ALS患者における終末期苦痛スケールの有用性の検討	295
	新井 玉南 (東京都立神経病院)	
PO44-10	TPPV下のDuchenne型筋ジストロフィー患者へ、モルヒネと看護介入が自己効力感をもたらした1例 ～「息が楽になった一番は、僕が上手に息ができるからだよ」～	296
	富川 正子 (独立行政法人国立病院機構 長崎川棚医療センター)	
PO44-11	神経筋疾患患者の終末期における看護・介護の課題～デスカンファレンスの分析から～	296
	富川 正子 (独立行政法人国立病院機構 長崎川棚医療センター)	

PO45

6月19日(金)17:30-18:30

非がん患者の緩和ケア(腎疾患、その他) 1

ポスター会場

座長：小野沢 滋 (北里大学病院 トータルサポートセンター)

PO45-1	療養病棟における終末期外出リハビリテーションの取り組み ～「お盆にもう一度帰りたい」が実現した一例～	296
	喜多 なつひ (富山協立病院 リハビリテーション科)	

P045-2 緩和ケアチームが非がん症例に提供し得るもの 296
儀賀 理院 (埼玉医科大学 総合医療センター 緩和ケアチーム・呼吸器外科)

P045-3 透析非導入となった末期腎不全患者が在宅緩和ケアに移行し、
医療者の予後予測以上に安定した3例 297
村瀬 樹太郎 (川崎市立井田病院 総合ケアセンター 緩和ケア内科)

P045-4 高齢者で透析非導入を決めた末期腎不全に対し在宅医療中心で看取りを行った2例 297
鈴木 泰介 (菊川市立総合病院 泌尿器科)

P045-5 悩んでいますー極めて稀なウェルナー症候群 (早老症) 患者に対する緩和ケア治療ー 297
川井田 浩一 (鹿児島県立 北薩病院)

P045-6 担癌および非癌透析患者の終末期透析中止および再開の経験 297
余語 久則 (豊見城中央病院 麻酔科)

P045-7 体重減少著名なCOPD患者に対するカルニチンの使用経験 298
石樽 裕之 (要町病院)

P045-8 当院における非がん患者の緩和ケア 298
久保田 敬乃 (東京慈恵会医科大学附属病院緩和医療学)

P045-9 大病院における非がん患者への緩和ケア
～緩和ケアチーム介入の現状と今後への課題～ 298
三浦 恵美子 (東京大学 医学部 附属病院 緩和ケアチーム)

P045-10 当院緩和ケアチームにおける非がん患者介入の後方的実態調査 298
熱方 智和子 (聖マリアンナ医科大学病院 看護部)

P045-11 緩和ケア病棟におけるHIV/AIDS患者の受け入れについての調査研究 299
永井 英明 (国立病院機構 東京病院 緩和ケア内科)

P046 6月19日(金)17:30-18:30
非がん患者の緩和ケア(胃疾患、その他)2、集中治療での緩和ケア、文化(culture)の問題、その他の地域・在宅緩和ケアと特定集団に対する緩和ケア ポスター会場

座長：山下 和海 (社会医療法人原土井病院)

P046-1 当院緩和ケアチームに介入依頼された非がん患者の予後に関する検討 299
江川 健一郎 (亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科、亀田総合病院 緩和ケアサポートチーム)

P046-2 当院におけるNRSを用いた非がん疼痛の評価と緩和ケアチーム介入による治療効果の
検討 299
江川 健一郎 (亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科、亀田総合病院 緩和ケアサポートチーム)

P046-3 緩和ケアチームが介入した集中治療患者の後方視的検討 299
濱口 大輔 (手稲溪仁会病院 緩和ケア科)

P046-4 ICU・HCUに常勤する理学療法士が看取りに関わる機会について 300
藤吉 健史 (市立砺波総合病院 総合リハビリテーションセンター 呼吸療法係)

P046-5 三次救急において終末期にある患者への整容ケアに対する看護師の認識 300
佐竹 陽子 (奈良県立医科大学 医学部 看護学科、
大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 博士後期課程)

P046-6 外国籍の終末期がん患者の苦痛緩和において文化的理解と配慮が困難であった症例報告 300
小木曾 照子 (大阪赤十字病院)

P046-7  日本・台湾・韓国の緩和ケア医が考える望ましい最期の違い 300
森田 達也 (聖隷三方原病院)

PO46-8	緩和ケアを活かした災害時のこころのケアのありかたと課題 ～岩手県大槌町における「お医者さんのお茶っこ」の経験から～	301
	大井 裕子（聖ヨハネ会桜町病院 聖ヨハネホスピス、 岩手県民とともに歩む緩和ケア仲間の会）	
PO46-9	がん患者支援ネットワーク事業 ～がん医療 がん在宅医療ガイドブック<筑後版>を作成して～	301
	佐野 智美（久留米大学病院）	
PO46-10	乳癌患者114例に対する緩和ケアの検討	301
	佐藤 健（国立病院機構豊橋医療センター 外科）	

PO47

卒前教育、教育方法1

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：清水 佐智子（鹿児島大学）

PO47-1	終末期患者との関わりによる看護学生の心理的变化 ～緩和医療センターでの実習を通して～	301
	高須 博子（愛知県厚生農業協同組合連合会 更生看護専門学校）	
PO47-2	医学生に「緩和ケア」はどのように認識されているか？	302
	矢部 充英（大阪市立大学大学院 医学研究科 麻酔科学）	
PO47-3	薬学生に対する緩和医療卒前教育への取り組み（第4報） －緩和医療に関する実習と死に立ち会った経験による死生観に関する意識への影響－	302
	杉浦 宗敏（東京薬科大学薬学部医薬品安全管理学教室）	
PO47-4	医学部における臨床死生学の教育実態について－緩和ケアに関する教育から学ぶ－	302
	寄本 恵輔（早稲田大学大学院 人間科学研究科 健康福祉科学研究領域 緩和医療・臨床死生学教室）	
PO47-5	緩和ケア病棟実習の前後における医学生の緩和ケアの認識に関する質的研究	302
	川島 夏希（筑波メディカルセンター病院 緩和医療科）	
PO47-6	臨地実習前後における看護学生の死生観の比較	303
	中島 巳歌（秋田大学医学部 保健学科）	
PO47-7	終末期がん患者の理学療法実践の方向性を示す理学療法教育モデルの構築とその可能性 －2症例の経験から－	303
	黒田 未貴（医療法人 宝持会 池田病院 総合リハビリテーションセンター）	
PO47-8	都立病院における緩和ケア認定看護師の活動～グリーフケア研修会の効果～	303
	多田 啓恵（東京都立多摩総合医療センター）	
PO47-9	緩和ケアチームの活動の質の向上に向けて～勉強会でチームの力をつける～	303
	吉本 訓子（岸和田徳洲会病院 看護部）	
PO47-10	服薬指導スキルアップを目的とした薬剤師対象のロールプレイ勉強会の開催と評価	304
	久保 範子（一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 薬局）	
PO47-11	愛知県がんセンター愛知病院におけるELNEC-Jの有効性と課題の検討	304
	山内 加寿巳（愛知県がんセンター愛知病院）	

PO48

教育方法2、卒後教育、施設内教育1

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：駒澤 伸泰（大阪医科大学 麻酔科学教室）

PO48-1	看護学生の終末期の授業に絵本を取り入れてグループワークを展開した報告	304
	嶋田 祐樹子（北海道社会事業協会 帯広看護専門学校）	

PO48-2	イーフェンバツカル錠の患者理解度向上に向けた取り組み －医療者研修会での動画利用の効果－	304
	平井 利幸 (株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院 薬務局)	
PO48-3	緩和ケア病棟看護師の家族ケアの視点の変化	305
	原島 まどか (医療生協さいたま埼玉協同病院)	
PO48-4	薬学部1年次ヒューマンズム教育における方略の違いによる学修効果の検討	305
	小林 永美 (摂南大学 薬学部 薬学科)	
PO48-5	新人看護師に対する絵本を用いた死生観教育の効果	305
	武田 礼子 (市立池田病院 看護部)	
PO48-6	若手医師の緩和研修に対するニーズには、何が影響するか： 緩和ケア医を志す若手医師が感じる研修・自己研鑽のニーズと改善策に関する全国調査から	305
	上元 洵子 (聖隷浜松病院 緩和医療科)	
PO48-7	デスカンファレンスを振り返り、院内教育に繋げる取り組み	306
	二本柳 舞 (一部事務組合下北医療センター むつ総合病院)	
PO48-8	当院看護師の麻薬に対する認識の現状と課題	306
	山田 貴之 (医療法人 八女発心会 姫野病院 薬剤科)	
PO48-9	がん看護に関する総合的な研修の効果 －がん診療連携拠点病院におけるがん看護基礎コース研修のアンケート結果より－	306
	池田 牧 (鳥取県立中央病院 がん相談支援センター)	
PO48-10	「看護師に対する緩和ケア教育テキスト」に基づいた研修会の学習効果 －“NURSE”を用いたロールプレイの効果に焦点を当てて－	306
	濱野 由紀子 (鳥取県立中央病院 がん相談支援センター)	
PO48-11	フェンタニル即効性製剤の導入と運用における緩和ケアチームの関わり	307
	宮原 兼二 (独立行政法人労働者健康福祉機構 中部労災病院 緩和ケアチーム、 独立行政法人労働者健康福祉機構 中部労災病院 薬剤部)	

**PO49
施設内教育2**

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：中保 利通 (宮城県立がんセンター 緩和ケア内科)

PO49-1	病棟毎のニーズにあわせた「おしかけ勉強会」の試行～その評価と問題点の検討～	307
	山際 一也 (平塚市民病院 薬剤科)	
PO49-2	看護師のフェンタニル貼付剤取扱いに関する知識の獲得状況から見た、 「貼り方学習会」の有用性の検討	307
	岩本 斉子 (愛知県がんセンター愛知病院)	
PO49-3	A大学病院のエンゼルケアワーキンググループの活動と研修の取り組み	307
	金子 結花 (群馬大学医学部附属病院)	
PO49-4	緩和ケアリンクナース育成への取り組み	308
	田中 美奈子 (がん感染症センター都立駒込病院 看護部)	
PO49-5	ELNEC-Jコアカリキュラムプログラム研修会の院内開催の効果と今後の課題	308
	太郎良 純香 (北九州市立医療センター 緩和ケア病棟)	
PO49-6	がん領域の認定看護師による緩和ケアリンクナース育成と支援活動の評価	308
	三頭 佐知子 (関西医科大学付属滝井病院)	
PO49-7	事例検討から見える緩和ケアリンクナースの課題	308
	荒木 弥生 (社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院)	

 マークは優秀演題です。

P049-8	院内前期研修医に対する定期的な緩和ケア勉強会の試み	309
	端 裕之 (大阪赤十字病院)	
P049-9	デスクンファレンスを開催する緩和ケアリンクネースの支援	309
	中村 めぐみ (独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター 看護部)	
P049-10	麻薬製剤ポケットマニュアルの活用状況	309
	上田 聖子 (一般財団法人 住友病院 緩和ケア対策委員会)	
P049-11	急性期病棟における緩和ケア勉強会実施の取り組み	309
	原田 昭子 (岩手医科大学附属病院 西4階病棟)	

**P050
施設内教育3**

6月19日(金)17:30-18:30
ポスター会場

座長：長澤 昌子 (岩手医科大学附属病院 高度看護研修センター)

P050-1	緩和ケアチームによるアブストラル®舌下錠適正使用への取り組み	310
	鈴木 規仁 (日本医科大学 麻酔科学教室)	
P050-2	デスクンファレンスから抽出された看護師の思いと課題	310
	竹村 陽子 (大分赤十字病院 看護部)	
P050-3	痛みのスクリーニング『生活のしやすさに関する質問票』の評価	310
	島居 孝恵 (JA尾道総合病院)	
P050-4	緩和ケア病棟で教育カリキュラムを導入した振り返りと課題	310
	梶 愛子 (石川県済生会金沢病院 緩和ケア病棟)	
P050-5	緩和ケアに関する質問紙調査からみた当院の現状と課題 (1) ～緩和ケアに関する知識と院内教育への課題～	311
	館野 一宏 (独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター 緩和ケアチーム)	
P050-6	緩和ケアに関する質問紙調査からみた当院の現状と課題 (2) ～がん患者へのケアにおける看護師の困難感と態度からの検討～	311
	藤原 美聡 (独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター)	
P050-7	一般病棟における緩和ケア教育の試み ～緩和ケアカンファレンスを通して看護師の変容を評価する～	311
	山田 くみ (川崎市立多摩病院)	
P050-8	地域中核病院における疼痛マネジメントに関する看護師の知識調査 ～緩和ケア認定看護師配置により見えた課題～	311
	石渡 明子 (北海道済生会小樽病院 看護部、緩和ケアチーム)	
P050-9	緩和的放射線療法の見直しに関する院内研修の有用性の検討	312
	日浅 友裕 (社会医療法人厚生会 木沢記念病院 看護部 放射線治療室)	
P050-10	がん性疼痛緩和に対する一般病棟看護師の認識と課題 一病棟に在籍する認定看護師への相談内容からの分析一	312
	梅山 恵一郎 (独立行政法人国立病院機構東埼玉病院 看護部)	
P050-11	オピオイド副作用対策の改善を目指した記録の標準化	312
	塩津 未季 (川崎市立川崎病院 看護部)	

P051
施設内教育4.市民・患者への啓発

6月19日(金)17:30-18:30
 ポスター会場

座長：松岡 順治（岡山大学大学院 保健学研究科、岡山大学病院 緩和支援医療科）

- P051-1 **A病院看護師のがん性疼痛看護に対する認識に関する考察**
 ——一般病棟と緩和ケア病棟の比較から—— 312
 和田 かおり（社会福祉法人恩師財団 済生会今治病院）
- P051-2 **がん終末期患者に対する医療者の意識変化を促せるか** 313
 三村 卓司（社会医療法人 緑社会金田病院 外科）
- P051-3 **がん関連の認定・専門看護師による地域住民に対する緩和ケア講座の開催の取り組みと
 その評価** 313
 斎藤 美智子（神戸市立医療センター 西市民病院）
- P051-4 **緩和ケア週間イベントの開催によって見えてきた現状と課題** 313
 伊藤 香織（東京都立多摩総合医療センター 緩和医療部会）
- P051-5 **高校生の死生観教育の一端を看護師が担う意義—聴講後の感想の分析から考える—** 313
 鈴木 則子（社団法人医療法人養生会 かしま病院 看護部）
- P051-6 **小学生に対する緩和ケアを通じたがん教育・生命の大切さを伝える試み** 314
 近藤 麻美（市立貝塚病院 看護局）
- P051-7 **地域連携による市民医療講座～第2回「緩和ケアってなに？」を行って～** 314
 西原 彰浩（箕面市立病院 緩和ケアチーム、箕面市立病院 がん診療推進部、
 箕面市立病院 消化器内科）
- P051-8 **秋田県における中学生に対するがん教育の活動状況** 314
 安藤 秀明（秋田大学医学部附属病院 緩和ケアセンター）
- P051-9 **在宅医療普及に向けての当院の取り組みと課題～市民アンケートを通して～** 314
 松野 多希子（JA山口厚生連 長門総合病院）
- P051-10 **乳がん患者を対象とした医療用麻薬に関しての効果的な患者教育方法の検討** 315
 谷 大輔（大阪赤十字病院 薬剤部）
- P051-11 **「がん教育」に関する一考察～今後の「がん教育」への提言～** 315
 井上 実穂（独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター）

P052
研究方法、概念・歴史、評価尺度

6月19日(金)17:30-18:30
 ポスター会場

座長：丹波 嘉一郎（自治医科大学附属病院 緩和ケア部）

- P052-1 **東北大学病院における5大癌患者の終末期医療：DPCデータを用いた集計方法の検討** 315
 佐藤 悠子（東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野）
- P052-2 **緩和ケアにおける「スピリチュアリティ」の有り様—文献の質的統合を試みて—** 315
 金子 奈未（新潟大学大学院保健学研究科博士前期課程）
- P052-3 **「医療介護福祉の地域連携尺度」の開発** 316
 阿部 泰之（旭川医科大学病院 緩和ケア診療部）
- P052-4 **緩和ケア病棟開設前後の入院期間の変化と「さんむ式」評価尺度の有効性** 316
 吉田 祐一（地方独立行政法人 さんむ医療センター 緩和医療チーム）
- P052-5 **FACIT-Sp調査票によるQOLの経時的変化** 316
 大塚 正友（近畿大学医学部堺病院緩和ケア科）

P052-6	急性期病院でSTAS-Jを導入し利用する事によって看護師が緩和ケアを行う際の看護の意識が改善する	316
	白川 剛 (九州大学病院 血液・腫瘍内科、県立宮崎病院 化学療法科)	
P052-7	遺族の評価による終末期ケアの質評価尺度Care Evaluation Scaleと終末期患者のQOL評価尺度Good Death Inventoryの非がん患者での信頼性・妥当性の検証	317
	佐藤 一樹 (東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野)	
P052-8	遺族による終末期患者の介護体験の評価尺度Caregiving Consequence Inventoryの改訂と非がん患者遺族での信頼性・妥当性の検証	317
	佐藤 一樹 (東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野)	
P052-9	Edmonton Symptom Assessment System revised 日本語版 (ESAS-r-J)の開発	317
	小川 朝生 (国立がん研究センター 東病院 臨床開発センター 精神腫瘍学開発分野)	

P053

その他の教育・啓発・研究・概念に関する課題

6月19日(金)17:30-18:30

ポスター会場

座長：清水 義博 (社会医療法人第二岡本総合病院)

P053-1	ボランティア活動が多くの学びの場所となる事例 ～リレー・フォー・ライフに参加して得たもの～	317
	福留 やよい (社会医療法人 原土井病院)	
P053-2	子どもを持つがん患者・家族への支援～医療者教育プログラムの効果～	318
	井上 実穂 (独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター)	
P053-3	大阪府における緩和ケア研修会への取り組み～6年間を振り返って～	318
	川島 正裕 (市立岸和田市民病院緩和ケア内科、大阪府がん診療連携協議会・緩和ケア部会)	
P053-4	高校生に緩和ケアの知識を提供する意味について考える	318
	大平 綾 (市立釧路総合病院)	
P053-5	当院における今後の緩和ケア研修会のありかたについて ～過去5年間の受講生のアンケート調査から～	318
	渋谷 均 (市立室蘭総合病院 緩和ケアチーム)	
P053-6	一般病棟で緩和ケアを行う困難と課題	319
	矢内 涼子 (社会福祉法人 仁生社 江戸川病院 看護部)	
P053-7	緩和ケア病棟開設におけるデスカンファレンスの準備状況	319
	川崎 玉子 (宇治徳洲会病院 看護部)	
P053-8	緩和ケア患者の生存期間とQuality of Lifeの関係：多施設共同前向き横断研究	319
	宮崎 貴久子 (京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学)	
P053-9	非がん疾患患者のエンド・オブ・ライフ期の緩和ケア・看護実践に関する実態	319
	吉田 みつ子 (日本赤十字看護大学)	
P053-10	専門的緩和ケアを担う看護師に求められるコアコンピテンシーの検討	320
	新幡 智子 (筑波大学大学院 人間総合科学研究科)	
P053-11	一般病棟看護師の終末期癌患者ケアに対する困難感 ～コミュニケーションに焦点をあてて～	320
	渡嘉敷 のぞみ (社会医療法人敬愛会中頭病院)	